

令和7年度

# 区長と語る会結果報告書

東京都台東区



この報告書は令和7年度に開催いたしました「区長と語る会」での発言の要旨をまとめたものです。

「区長と語る会」は、区長が直接区民の皆様からご意見・ご要望等をお聴きし、貴重なご意見として、区政に反映させることを目的に開催しております。

今年度は、地区町会連合会の皆様や各中学校の生徒代表の皆様、青年のご意見として『二十歳の集い実行委員会』の皆様、また、人生において様々な転換期を迎える20代から40代の区民の皆様との語る会を開催いたしました。

いただきましたご意見・ご提案等につきましては、直ちに担当部署に報告し、可能なものは実施に向け、課題につきましては関係機関と解決に向け、取り組んでまいります。

最後に、語る会の開催にあたりご協力をいただきました皆さまに、心から感謝申し上げます。

令和8年3月

台東区総務部 広報課

## 「区長と語る会」開催日及び出席人数

対 象	開 催 日	会 場	出席人数
浅草橋地区町会連合会	7月 4日 (金)	浅草橋区民館	13名
馬道地区町会連合会	7月 4日 (金)	馬道区民館	20名
入谷地区町会連合会	7月 7日 (月)	入谷区民館	18名
竹町地区町会連合会	7月 8日 (火)	台東一丁目区民館	14名
金杉地区町会連合会	9月 5日 (金)	金杉区民館	14名
上野地区町会連合会	9月 9日 (火)	上野区民館	22名
区立中学校 (中学生)	10月 5日 (日)	区役所庁議室	13名
浅草寿地区町会連合会	11月 7日 (金)	寿区民館	27名
雷門地区町会連合会	11月10日 (月)	雷門区民館	24名
清川地区町会連合会	11月12日 (水)	清川区民館	20名
二十歳の集い 実行委員会	11月26日 (水)	区役所庁議室	10名
谷中地区町会連合会	12月 5日 (金)	谷中区民館	17名
東上野地区町会連合会	12月 5日 (金)	東上野区民館	18名
20～40代の区民	2月20日 (金)	(オンライン開催)	10名
区立中学校 (立志式に携わる中学生)	3月 8日 (日)	区役所1001会議室	23名
出席人数合計		263名	

## 目 次

### 「台東区町会連合会との語る会」

#### 《浅草橋地区町会連合会》

◇公園の占用申請について	1
◇災害後を想定する事前復興計画について	2
◇マンションの町会退会について	3
◇めぐりんの減便について	4
◇綺麗な街づくりについて	4
◇清掃リサイクル推進協議会について	5
◇隅田川親水テラスへのスロープ設置について	6

#### 《馬道地区町会連合会》

◇死亡の際の手続きについて	7
◇解体工事の騒音・振動について	8
◇健康保険証について	8

### 《入谷地区町会連合会》

◇町会入会のお誘いについて	9
◇町会費未納および退会の増加について	10
◇防災備蓄について	10
◇避難所について	11
◇ペット同伴避難について	11
◇子規庵の啓発について	12

### 《竹町地区町会連合会》

◇小学校の学区について	13
◇建物の老朽化と今後の方向性について	14
◇町内の道路状況について	14

### 《金杉地区町会連合会》

◇宿泊税について	15
◇子供たちに英語教育を	16

◇区有掲示板の電子化について	17
----------------	----

◇避難所生活環境の良化について	18
-----------------	----

◇不法民泊施設について	19
-------------	----

### 《上野地区町会連合会》

◇出幅について	21
---------	----

◇ごみの捨て方について	22
-------------	----

◇露天商の取締りについて	22
--------------	----

◇指導員の有効活用について	23
---------------	----

◇国道沿い植込みのごみの不法投棄に関する清掃のお願い	24
----------------------------	----

### 《浅草寿地区町会連合会》

◇車道と歩道の段差解消について	25
-----------------	----

◇避難所の防災倉庫について	26
---------------	----

◇国道・都道にある道路標識について	27
-------------------	----

◇訪日外国人への対応と町会活動について	28
---------------------	----

◇区の業務効率化の促進について	29
-----------------	----

### 《雷門地区町会連合会》

◇火葬場の件について	31
------------	----

◇ワンルームマンション問題について	32
-------------------	----

◇自動販売機の回収ボックスについて	33
-------------------	----

◇会館前区道の補修工事について	34
-----------------	----

◇観光バスの降車場について	34
---------------	----

### 《清川地区町会連合会》

◇トイレトラックおよび熱中症対策について	35
----------------------	----

◇ぐるーりめぐりんの増便について	36
------------------	----

◇人が常駐しない戸建住宅風のホテルについて	36
-----------------------	----

◇インバウンド増加に伴う北めぐりんの混雑と料金設定について	37
-------------------------------	----

### 《谷中地区町会連合会》

◇自転車置き場の駐輪違反取締り強化について	39
-----------------------	----

◇上野桜木2丁目信号機での自動車と歩行者の意識違いによる危険交差点について	40
◇仮称「みんなの広場」へのベンチの設置について	40
◇五重の塔跡地こども広場の災害時の有効活用について	41
◇大規模災害時における谷中地区内の電柱倒壊被害対策について	42
◇蚊の対策について	43
◇歩行者と自転車と電動キックボード等の安全通行について	43
◇インバウンド急増に対応する都市計画について	44
《東上野地区町会連合会》	
◇旧下谷小学校の跡地の利用等について	45
◇西町公園について	46
◇町会加入率低下による町会員とマンション住人の連携について	46
◇宿泊施設に対する指導等について	47
◇屋上緑化によるウミネコ被害について	48

## 「中学生との語る会」

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	49
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	50
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	51
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	52
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	53
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	54
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	55
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	56
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	56
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	57
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	58
◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	59

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」	60
------------------------------	----

## 「二十歳の集い実行委員会との語る会」

◇区立小学校のクラス数について	61
-----------------	----

◇成人を迎えた私たちが地域のためにできることについて	62
----------------------------	----

◇私たちにとって台東区がどうあってほしいかについて	62
---------------------------	----

◇台東区のこれからも残していきたいものについて	63
-------------------------	----

◇若者の未来について	64
------------	----

◇選挙について	65
---------	----

## 「20～40代の区民との語る会」

◇外国人観光客への対応について	67
-----------------	----

◇孤独・孤立対策について	68
--------------	----

◇まちづくりについて	69
------------	----

◇南部エリアのまちづくりについて	70
------------------	----

◇学校でのプール指導について	71
◇より効果的に子育て支援事業を活用するために	72
◇区内のお祭りについて	73
◇子育て支援事業の充実について	74

### 「立志式に携わる中学生との語る会」

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	77
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	78
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	79
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	80
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	80
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	81
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	81
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	82

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	82
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	83
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	83
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	84
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	84
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	85
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	85
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	86
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	86
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	87
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	87
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	88
◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと	88

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと ..... 89

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと ..... 89

- ・この報告書は「区長と語る会」における質問と回答の要旨を記載いたしました。
- ・町会名や肩書きは「区長と語る会」開催時のものです。
- ・（※）は「区長と語る会」開催後の経過報告および補足事項を記載いたしました。
- ・対応の表示内容は以下のとおりです。

対応	実施済	対応中	今後対応	検討	他機関へ 要望	課題あり	事業説明
	◎	○	◇	☆	●	△	—

## 「台東区町会連合会との語る会」

### 《 浅草橋地区町会連合会 》

日時：7月4日（金） 午前10時から（会場：浅草橋区民館）

#### ◇公園の占用申請について

質問	回答	対応
<p>公園の使用について、「1か月前の申請では、町会が使用したい場合も先に区の行事等が入っていたら使用できない」とのことでした。</p> <p>柳北公園は一時避難場所にもなっており、様々な催し物も行っています。町会利用についても、区と同じように優先していただけるようお願いいたします。</p>	<p>区立公園の占用については、多くの団体から申請があるため、占用したい日が重なった場合には調整させていただいています。</p> <p>占用申請の受付は1か月前からとなりますが、事前の相談はそれ以前から受け付けており、ご希望日程の聞き取りや実施内容をお伺いし、可能な限り実施に向けて相談に応じています。</p> <p>町会の定例的な年中行事等で公園を使用する予定があるときは、お早めに公園課までご相談ください。</p>	◎

◇災害後を想定する事前復興計画について

質問	回答	対応
<p>近年、南海トラフ地震や首都直下型地震が危惧されています。東京都では、「東京都震災復興マニュアル」が策定されていますが、台東区では震災復興マニュアル等はどのように策定されているのでしょうか。</p> <p>また、災害後を想定した事前復興計画の想定、例えば仮設住宅の設置や廃棄物の仮置場・処分場、食料の配布、住宅・仕事の支援、ライフラインの緊急対応拠点等の具体的な計画があればご教示ください。</p>	<p>区の地域防災計画では、大規模災害発生時、災害対策本部を設置して災害対応にあたります。そして区内被害の状況により、被災後1週間後を目途に災害復興本部を設置して基本方針を定め、その後、災害復興計画を策定することとしています。</p> <p>また都市復興と生活復興ともに、区民生活全般に関わることから、区では震災復興マニュアルを策定し、復興業務やそのタイムライン、庁内の役割分担を定めています。</p> <p>仮設住宅の設置については、東京都と連携して、応急的な住宅の迅速な供給を図ります。また、災害廃棄物の仮置場については、「台東区災害廃棄物処理計画」にてその内容を定めて事前の準備を進めています。さらには、災害後であっても通常の区役所業務の継続が図れるよう「業務継続計画」を策定しています。</p> <p>重大な被害を受けたまちや人々の生活を震災前の平穏な状態に戻せるよう、国や都、ライフライン事業者などと連携して、被災前の平時から必要な施策をこれからも実施してまいります。</p>	<p>—</p>

◇マンションの町会退会について

質問	回答	対応
<p>昨年末に、1つのマンションの管理会社から「町会を退会したい」と届けがありました。また、マンション建設をする際に、町会費のことなど事前の話し合いをしていますが、その後転売され、新しいオーナーからは町会費を払ってもらえないケースもあります。</p> <p>そのようなことは区内各所で起きていると思いますが、区としてどのような対応を考えているのかお伺いします。</p>	<p>区では集合住宅建設時から建築主等に対し、入居者の町会への加入に関する必要な協力をお願いしているところです。</p> <p>また、最近では集合住宅一棟が売却され、それまでの協議や合意した内容を破棄された事例や、町会を退会されてしまうケースなどもありますが、区でも竣工前に所有者変更の報告を受けた際には、従前の取り決めを引き継ぐようお願いしています。</p> <p>その他の取組みとして、昨年10月から「地区別町会案内図」を転入された方に向けて配付し、お住まいの場所がどこの町会に属するかを案内しています。また現在、建築主やオーナー等の業者向けに、町会の役割や活動を理解していただけるようなチラシの作成を進めているところです。</p> <p>さらに、町会のホームページやSNSを活用して情報発信をすることも、町会活動を理解してもらうための有効な手段であると考えています。</p> <p>引き続き、町会活動が活性化するよう支援してまいります。</p>	<p>—</p>

◇めぐりんの減便について

質問	回答	対応
<p>ここ最近で、南めぐりんが1時間に4本から3本に、ぐるーりめぐりんも時間帯にもよりますが、1時間に3本から2本程度に減便になりました。</p> <p>運転士の確保が難しいと聞きましたが、減便は一時的なものではないのでしょうか。できれば元の便数に戻していただけないでしょうか。</p> <p>また、将来的には運転手がいらない自動運転などはお考えでしょうか。</p>	<p>近年、バス運転手不足が深刻化しています。「めぐりん」においても運転手の離職防止を図るため、労働時間の縮減など労働環境の改善について運行事業者と協議を行い、これまで減便を伴うダイヤ改正を実施してまいりました。南めぐりん、ぐるーりめぐりん共に多くの方にご利用いただいておりますが、減便前の便数に戻すことは現状難しい状況です。</p> <p>皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお自動運転については、将来的に考える必要があると思います。また昨年度、上野の山と谷中で「グリーンスローモビリティ」の実証実験を行いました。</p> <p>このような実験を通して、交通手段として将来的にどのような方法が考えられるか検討していきたいと思います。</p>	<p>△</p>

◇綺麗な街づくりについて

質問	回答	対応
<p>これまで鳩の糞対策、カラスのごみ袋荒らし対策等に追われていましたが、最近ねずみが町中を走り回り、道路に糞やごみを散らかして困っています。</p> <p>区のホームページを拝見しましたが、なかなか良い対策が思いつかないので、町会や個人でできる対策を教えてください。</p>	<p>ねずみへの最も効果的な対策は、「餌となるものを無くす」「巣を作らせない」といった環境対策です。屋外のねずみはごみを餌としているため、餌となるごみを管理することが生息数を減らすために最も重要です。特に、生ごみはフタ付きのごみ箱や密閉した容器に保管し、ねずみの餌にならないようにしていただければと思います。またねずみは、餌がある場所近くの植え込みや物陰などに巣穴を作ります。</p> <p>区ではご相談に応じ、地域のねずみの生息調査なども実施しています。また、町会の回覧で使用いただけるパンフレットも用意できますので、担当の生活衛生課へご相談ください。</p>	<p>—</p>

◇清掃リサイクル推進協議会について

質問	回答	対応
<p>先日総会があり、会計の内容を確認したところ、その主な支出内容が「普及宣伝費」と「表彰経費」でした。</p> <p>普及宣伝費は「ごみ減量やりサイクルの推進に資する啓発用品の作成」とあり、啓発内容は「ごみの分別、粗大ごみについてチャットボットに聞いてみよう！」などのPR広告を入れた水切りネットの作成でした。これは区が行ってしかるべきものであり、各地区から会費を徴収する本協議会の予算で行うことに疑問があります。</p> <p>また、表彰に関しても毎年推薦の依頼がありますが、清掃リサイクル課で行っている集団回収の感謝状との違いがないのではないかと思います。</p> <p>この団体の成り立ち、目的、活動内容等はどのようなものでしょうか。表彰を統一するなど、必要に応じた見直しを行っていただきたいと思います。</p>	<p>本協議会は、平成12年の清掃事業移管に伴い東京都清掃局から区に引き継がれ、「地域の生活環境の向上を目的に、ごみの減量やりサイクルの推進等の自主活動を行うとともに、区の清掃やりサイクル事業に協力すること」を目的とし、地域の皆様によって組織されている協議会です。そして、各地区からの会費と区からの補助金、各2分の1ずつを財源にして運営されています。</p> <p>現在の主な活動は、役員が参加する清掃施設の見学会や、区の清掃事業に関する普及啓発、並びに清掃功労者に対する感謝状の贈呈などを行っています。</p> <p>区としては、この協議会の活動を通じて、皆様に区の清掃やりサイクル事業にご協力いただいていることに感謝しています。今後の活動に関しましては、一度ご相談に伺いたいと思います。</p> <p>※令和7年7月、質問者に状況を伺い、今後協議会の理事会を通して改善を図っていく予定です。（台東清掃事務所）</p>	<p>◇</p>

◇隅田川親水テラスへのスロープ設置について

質問	回答	対応
<p>以前も要望しておりますが、「浅草橋駅周辺のまちづくり勉強会」の結論としても、親水テラスへのスロープの必要性を訴えています。</p> <p>浅草橋地区には、柳北公園と御蔵前公園がありますが、親水テラスも重要な憩いの場として地域の人々に親しまれています。残念ながら親水テラスに入るには、2つの公園と違って階段を昇り降りする必要があり、乳母車で子供と一緒に行くには負担が大きく、足が遠のくような環境でもったいないと思います。</p> <p>地域にとって重要な公園の一つである親水テラスをより身近に利用できるよう、浅草中学校先の場所にスロープを設置していただきたくお願いします。</p>	<p>区では隅田川を管理している東京都に対し、以前から当地区の勉強会の検討内容の共有や、ご提案いただいているスロープ設置の要望について働きかけを重ねており、先月も実現に向けて協議を実施してまいりました。都においても、隅田川テラスへの動線のバリアフリー化の重要性を認識しており、当地区におけるスロープ設置の可能性について検討をしていると聞いています。</p> <p>今後も誰もが安全・安心にテラスを利用しただけできるよう、スロープ設置の実現に向けて積極的に都に働きかけてまいります。</p>	<p>●</p>

## 《 馬 道 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：7月4日（金） 午後3時から（会 場：馬道区民館）

### ◇死亡の際の手続きについて

質問	回答	対応
<p>亡くなった場合は、区役所だけでなく金融機関など様々な手続きが必要となります。</p> <p>残された遺族の負担が少しでも軽くなるよう、区役所の手続きが一度で済むようにしてもらいたいです。</p>	<p>ご遺族等の行政手続きの負担軽減のため、区では6月から、死亡届を出されたご遺族の方に「おくやみハンドブック」をお渡ししています。このハンドブックは、故人が生前に台東区で受けていた行政サービス等に関する手続きや、相続等の相談窓口、他の行政機関などの問合せ先等も掲載しており、ホームページからも見るすることができます。</p> <p>また7月からは、予約制による「おくやみコーナー」を区役所1階で実施しています。このコーナーは、故人のサービス内容を確認し、各所管課がその場で申請補助・受付を行うものです。区公式ホームページ、またはお電話でご予約ください。</p> <p>これらの取組みが、皆様のお手続きに少しでもお役に立てることを願っています。</p>	◎

◇解体工事の騒音・振動について

質問	回答	対応
<p>近年、古い建物を解体し、マンション等を建築する工事が多数行われています。建築工事は杭打ちなど、騒音・振動の発生が低い工法に変わり、多少改善されているようですが、解体工事に関しては、近隣へ騒音や振動をまき散らす工事が行われています。</p> <p>区から解体業者に対し、指導することはできないのでしょうか。</p>	<p>区では「台東区建築物の解体等工事の事前周知に関する要綱」に基づき、建物の解体工事を行う際、工事発注者および施工業者に「解体工事のお知らせ」標識の設置と近隣説明を義務付け、近隣住民へ工事内容等を周知することを定めています。また、発注者等の責務をより明確化することで、近隣住民への周知不足や、住民と業者の意識の相違によるトラブルの予防と削減に努めています。</p> <p>建設工事現場付近の区民から相談があった場合には、現場を訪問して騒音や振動を測定し、規制基準を遵守するよう施工業者に指導するとともに、防音や防振、散水等、公害防止の対策を講じるよう指導しています。お困りの場所がございましたら、環境課までご相談ください。</p>	◎

◇健康保険証について

質問	回答	対応
<p>有効期限が切れても、新たに保険証は発行されないと聞いています。</p> <p>マイナンバーカードを持っていない人が病院を受診するには、どうすれば良いのでしょうか。保険証の有効期限が迫ってきているので、教えていただきたいです。</p>	<p>マイナンバーカードをお持ちでない方には、今お持ちの保険証の代わりとなる「資格確認書」を7月中旬に郵送します。お手元の保険証の有効期限が経過した後は、資格確認書を医療機関にご提示いただくことで、今までと同じように受診することができます。</p> <p>マイナンバーカードをお持ちでない方への資格確認書の発行は、国民健康保険に加入の方も、後期高齢者医療制度に加入の方も共に同じ対応となります。</p> <p>なお本件については、6月20日号と7月5日号の広報たいとうでもご案内していますので、ご確認いただき、ご不明な点がございましたら国民健康保険課までお問い合わせください。</p>	—

## 《 入 谷 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：7月7日（月） 午前10時から（会 場：入谷区民館）

### ◇町会入会のお誘いについて

質問	回答	対応
<p>現在、新築マンションの増加に伴い町会世帯数が増えていますが、そこに入居されている方の町会入会世帯がなかなか増えない状況です。町会としても販売会社や建設会社、管理会社などには働きかけていますが、任意のためなかなか上手くいかないのが現状です。</p> <p>行政として、マンション販売会社や建設会社に建築許可を出すときに、町会加入についてより働きかけていただけませんか。行政でもリーフレットなどを作成していただいています。もう一手プッシュしていただけるとありがたいです。</p>	<p>区では集合住宅建設時から建築主等に対し、入居者の町会への加入に関する必要な協力をお願いしているところです。</p> <p>また、最近では集合住宅一棟が売却され、それまでの協議や合意した内容を破棄された事例や、町会を退会されてしまうケースなどもあります。区でも竣工前に所有者の変更の報告を受けた際には、従前の取り決めを引き継ぐようお願いしています。</p> <p>その他の取組みとして、昨年10月から「地区別町会案内図」を転入された方に向けて配付し、お住まいの場所がどこの町会に属するかを案内しています。</p> <p>町会への加入促進については、条例に示す案もありますが、そもそも町会活動のことを町会未加入の方だけではなく、加入していても知らない方が多いようです。そのため、町会のホームページやSNSを活用して情報発信をすることも、町会活動を理解してもらうための有効な手段であると考えています。</p> <p>今後もお困りのことがあれば、区のほうにご相談いただければと思います。</p>	○

◇町会費未納および退会の増加について

質問	回答	対応
<p>当町会内でも現在、複数のマンションが町会に加入していますが、町会費の未納が増えています。</p> <p>最近になって町会解散も起きているように、今のうちに条例を作成していただかないと町会運営ができなくなり、解散する町会も出てくると思います。</p> <p>新住民と旧住民とのトラブルも発生しています。</p>	同上	○

◇防災備蓄について

質問	回答	対応
<p>昨年、大正小学校にて防災訓練を実施した際、区が所有する圧縮マットを体験しました。薄いわりに床の冷たさを感じることもなく、良いものだと思いますが、人が歩くと埃を吸うので、できれば床上30cm以上の使用が望ましいと思います。大正小学校にはいつ頃、またどのくらいの数が配備されるのでしょうか。</p> <p>また、台東区では茨城県筑西市に備蓄倉庫を設置する予定と伺いましたが、トラックやドライバー不足、道路の通行が不能など、遠くにあることのデメリットが大きいと感じられます。台東区内に分散させて備蓄することはできないのでしょうか。</p>	<p>圧縮マットは区全体で約46,000枚を所持しており、大正小学校の避難者用マットは、現在、根岸の里に備蓄していますが、今年度実施する備蓄倉庫の再配置で大正小学校に備蓄できるように進めてまいります。</p> <p>また、床上30cm以上を確保できる折りたたみベッドも確保していますが、要配慮者用として各避難所に配備しています。保管スペースに限りがあることから、民間事業者への協力を含めベッドの確保に努めてまいります。</p> <p>続いて、防災備蓄倉庫についてです。現在、発災後に必要な最低限の3日間分の食料、その他必要な備蓄等の配備はおおむね完了しており、区内約100か所の防災備蓄倉庫に保管しています。</p> <p>しかし、それらに被害が生じた場合を想定した対策も必要です。そのため今年度、連携都市である筑西市に防災備蓄倉庫を確保し、区外から食料等の備蓄物資を輸送して避難者へ届けられるように対策を講じてまいります。</p> <p>引き続き、避難者が必要とする備蓄品の確保と円滑な物資配給ができるよう体制を整えてまいります。</p>	—

### ◇避難所について

質問	回答	対応
<p>旧坂本小学校の校舎は、3町会の避難場所でした。建物の老朽化に伴い取り壊しとなった際、本格活用時には3町会の指定避難所を設けることを条件に、忍岡中学校への指定避難所付け替えが行われました。</p> <p>有事の際、区は自宅避難を推奨しており、町会でも3～7日間の水、食料品、防災トイレ等の準備を、町会の皆さんに喚起しているところです。しかし、生活インフラの状態によっては、在宅避難も困難となる事態も想定されます。どうしても避難所の忍岡中学校に行く必要が生じた場合、2つの陸橋あるいは上野公園前交番を通過の避難となり、橋の倒壊や遠距離の避難行動になると推察されます。</p> <p>そこで北上野二丁目福祉施設の中に、3町会の一時避難場所として指定を賜りたくお願いします。</p>	<p>現在、3つの町会の皆様には、忍岡中学校を暫定の避難所としており、高台にあるため避難や移動などにご不便をおかけしています。</p> <p>「(仮称)北上野二丁目福祉施設」は、障害福祉を目的の一つとしていることから、二次避難所である「福祉避難所」として利用することを計画しています。そのため、避難所の運用面からも、同一建物内に一次避難所と二次避難所の機能を持たせることは難しいと考えています。</p> <p>なお、ご懸念されている災害発生時の避難行動について、区としてどのようなことができるのか検討しますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>	☆

### ◇ペット同伴避難について

質問	回答	対応
<p>家庭では大人しいペットも、災害時の避難という環境の変化に吠えたり、危険な状況になったりします。他の住民との同居避難は難しいと思います。</p> <p>当町会だけでも150頭の犬がいます。別居避難訓練を実施してはいかがでしょうか。</p>	<p>区では国や都のガイドラインを参考に、ペットと同行した避難者の受入をお願いしています。その際、避難者と同じ居住スペースではなく、建物周辺などペットエリアを別途指定し、同じ室内で飼育をする「同室避難」は行わないこととしています。</p> <p>ペットと同行した方の受入や、他のペットと同じスペースでの飼育など、避難所運営訓練において検証することは重要であるため、今後検討してまいります。</p> <p>引き続き、避難所でのペットの受入れに関する取組みを進めるとともに、平常時におけるペットの適正飼養の機会などを通じて、啓発に努めてまいります。</p>	☆

◇子規庵の啓発について

質問	回答	対応
<p>正岡子規が亡くなるまで執筆活動をしていた「子規庵」が、根岸にあることを知らない方が区民でも大勢います。</p> <p>区としても力を入れて、子規庵が台東区にあることを啓発してはいかがでしょうか。</p>	<p>現在の子規庵は、正岡子規が生涯を終えるまで住んでいた家を建て直して公開しているものです。また、東京都の指定史跡となっており、その管理運営は「一般財団法人子規庵保存会」によって行われています。そのため、今回のご意見については、当財団にもお伝えさせていただきます。</p> <p>なお区では、教育委員会にて講座や刊行物で子規庵を取り上げ、文化財としての啓発を行っています。</p> <p>また、景観法に基づき「景観重要建造物」に指定し、区公式ホームページに掲載するなど周知を図っています。さらに、隣接の建物が更新される際には、事前協議を行うなど、周辺を含めた景観が損なわれないように取り組んでまいりました。</p> <p>今後も区民の皆様への文化財の普及に努めるとともに、地域にとって大切な景観が損なわれないよう協議や指導等を行ってまいります。</p>	<p>—</p>

## 《 竹 町 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：7月8日（火） 午前9時30分から（会 場：台東一丁目区民館）

### ◇小学校の学区について

質問	回答	対応
<p>平成小学校に非常に近いエリアに住んでいる子供でも学区が違うということで、他の区立小学校に通っている生徒もいるそうです。</p> <p>これらの地域は学区を外し、どちらの小学校へ通っても構わないようにしていただきたいと思います。</p>	<p>学校教育法施行令では、「教育委員会は就学予定者が就学すべき小学校を指定しなければならない」とされています。</p> <p>区ではこれまでの学校と地域が培ってきた関係性など、歴史的経緯や道路等の地理的な状況を踏まえて通学区域を設定し、就学すべき学校を指定しており、現在の通学区域は適正であると認識しています。</p> <p>なお、兄弟が既に在籍するなど、教育委員会が定める承認基準に該当する場合は、就学する小学校の変更を申請できる「指定校変更」という制度があります。承認には条件がありますので、学務課へお問合せください。</p>	△

◇建物の老朽化と今後の方向性について

質問	回答	対応
<p>令和9年度より行われる御徒町台東中学校の大規模改修について、説明会が行われました。</p> <p>御徒町台東中学校は、老朽化（築51年）はもとより、狭小な施設等の改善を望み、「改修」ではなく「改築」を求める声が上がっています。現在の教育方針のもと人気校となり、生徒数も大幅に増えて教室が足りない状況です。</p> <p>今般の大規模改修にかかる費用も多額であることから、長い目で見ると建て替え計画として再考していただく必要性を感じています。</p>	<p>区では、令和4年度に「台東区公共施設保全計画」を策定し、順次区有施設の改修等を行っています。その計画の中で、教育施設等は「長寿命化施設」に位置付けられており、目標使用年数を80年と定めて計画を進めてまいりました。</p> <p>御徒町台東中学校においても他の教育施設と同様に、20年ごとに大規模改修を行い、築80年で改築としています。また今回当校は、大規模改修工事で教室数の確保等の対応ができると考えています。</p> <p>今回これらの説明が地域の皆様に十分に伝わっておらず申し訳ございませんが、引き続き丁寧に説明してまいります。</p> <p>区としては、新しい時代の学びの姿を踏まえた教育施設となるよう、今後とも学校やPTA等と連携、協力しながら計画を進めてまいります。</p>	<p>△</p>

◇町内の道路状況について

質問	回答	対応
<p>昨今、道路の陥没や、下水道管の破損事故等のニュースを多く視聴しますが、町会地域内でも所々に浮き沈みがあり、雨溜まりで歩行しにくい所があります。</p> <p>そのため、車両による跳ね水を歩行者が受けており、早めにご対応をお願いします。</p>	<p>区では、区が管理する道路の維持管理を行っています。具体的には、道路の水たまりの解消や舗装の落ち込みなどがあった場合、部分的な補修や、老朽化に伴う道路全体の改修工事を実施しています。</p> <p>ご指摘をいただいた道路の場所や状況について、現地を確認の上で補修方法を検討させていただきます。後日、担当の土木課から連絡いたします。</p> <p>※令和7年7月、質問者と現地を確認し、後日試掘工事を実施しましたが、埋設管等に異常は見受けられなかったため、舗装の復旧を行いました。（土木課）</p>	<p>◎</p>

## 《 金 杉 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：9月5日（金） 午後6時から（会 場：金杉区民館）

### ◇宿泊税について

質問	回答	対応
<p>宿泊税を課す自治体が増えてきており、導入に向けた検討を行っている自治体も多くあると聞きます。</p> <p>台東区の年間観光客数は4,121万人、うち外国人観光客数は640万人と推計されました。貴重な区税の使途は居住者だけでなく、来街者にも向けられています。受益者負担の観点からも、日本人・外国人を問わず、国際観光都市である台東区も宿泊税を導入しても良いのではないのでしょうか。</p> <p>なお、集めた税金は、観光バスに関する取組みや、観光地のごみ問題の対策などに活用できれば良いと思います。</p>	<p>宿泊税は東京都が導入しており、区において導入する場合、都と区が宿泊税を二重に課税することとなるため、自治体間の税率調整や事務分担の調整等も必要となるなどの課題があります。</p> <p>現在、都では税負担の引き上げを含めた、宿泊税のあり方や使途について検討を進めているところです。観光バスの問題やごみの問題もある中で、区民生活と調和した持続可能な観光地づくりのための財源として、宿泊税を活用できるよう東京都に対して働きかけてまいります。</p> <p>※令和7年11月、都が宿泊税の見直しの素案を公表しました。区では、その素案に対する意見として、宿泊税収入を自治体の取組みに重点的に活用するよう、都へ要望しました。（企画課経営改革担当）</p>	●

◇子供たちに英語教育を

質問	回答	対応
<p>日本人は海外や外国人に対して臆してしまうところがあります。それは日本の英語教育の質に大きく起因しているのではないかと思います。</p> <p>これから日本は、国内であっても今まで以上に外国人と関わるが多くなっていきます。実践的に身に付く英語指導の方法を検討していただき、観光地・台東区を背負う将来の人材を育成していただきたいです。</p>	<p>区立小学校では、小学校1年生から英語活動を伴う国際理解等に関する学習を行っています。また、小学校5,6年生では、体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」における校外学習等、学校で習った会話を使って外国の方とコミュニケーションをとる場を設定しています。</p> <p>区立中学校では、夏休みに体験型英語プログラム「English Summer School」を実施し、使える英語力の育成と英語活用に対する意識の向上を目指しています。さらに、グローバル教育を推進するため、令和6年よりオーストラリア・シドニー市およびノーザンビーチ市に区立中学校に通う2年生20名を派遣しています。海外における生活や学習、および相互交流などの直接体験を通して豊かな人間性を培い、国際社会において尊敬と信頼を得られる区民の育成を目指しています。</p> <p>今後もグローバルに活躍する人材の育成に取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇区有掲示板の電子化について

質問	回答	対応
<p>掲示物については、極力掲示したいと考えてはいますが、大きさもバラつきがあり、量が多いと掲示しきれないこともあります。また、雨などで剥がれないようフィルム保護もしています。</p> <p>今回の区有掲示板の建替えでは、アクリル板で掲示物を保護するようですが、アクリル板の破損についての対策はいかがなのでしょう。</p> <p>そこで、提案ですが、</p> <p>①掲示板を液晶ディスプレイ化し、スライドショーで掲示内容を変えていくことで掲示漏れをなくす。</p> <p>②電源はソーラーパネルとバッテリーを使用し、人感センサー付きとすることで節電を図る。</p> <p>③掲示内容は、区役所からケーブルテレビの配線やWi-Fi等を利用して配信する。あわせて、防犯カメラもネットワーク化し、防犯カメラ直下でダウンロードしないで済むように変える。</p> <p>すぐには難しいかもしれませんが、紙代、印刷代、配付の手間、配付手数料を節約できますので、ご検討をお願いします。</p>	<p>電子掲示板についてはメリットがある一方で、様々な広報媒体があるため、各媒体の特性や費用等を考慮し、より良い周知方法を選択していく必要があると考えています。</p> <p>区では現在、掲示板の風雨対策や町会の皆様の負担軽減のため、アクリル保護板付き掲示板への建て替えを進めています。また、アクリル板の破損や劣化についても交換できるよう、準備を進めているところです。</p> <p>まずは、今回のアクリル保護板付き掲示板の設置を完了させ、今後も皆様のご意見を伺いながら、ご負担をできるだけ少なくしてまいりたいと思いますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。</p>	<p>—</p>

◇避難所生活環境の良化について

質問	回答	対応
<p>能登半島地震による避難所での災害関連死は、直接死よりはるかに多い人数だそうです。</p> <p>東京では30年以内に首都直下地震が予想されていますが、私の利用する避難所の一人あたりのスペース(1.6㎡)は、国際基準であるスフィア基準(3.5㎡)にそぐわず、プライバシーが守られない雑魚寝の状態です。さらに、48時間以内にトイレ、キッチン、ベッドを届けるという目標(TKB48)がありますが、区ではどのようにお考えでしょうか。また、利用する避難所には医療体制が整っていません。</p> <p>問題点を挙げれば切りがありませんが、避難所の生活環境を少しでも快適にすることで、災害関連死は減らすことができると思います。具体的な対策をお聞きしたいと思います。</p>	<p>区では、これまでの災害の教訓から避難所環境の整備に取り組んでおり、特に能登半島地震の発災後、直ちに緊急防災対策として間仕切りや排便袋、薬用洗口液などの備蓄物資を拡充し、避難所のプライバシーの確保や衛生環境の改善に取り組んでまいりました。</p> <p>避難スペースについては、既に区内施設の多くを避難所として活用しており、スフィア基準による一人あたりの面積を確保することは大変難しい状況となっています。物理的に足りない面積については、間仕切りなどの備品を駆使することでプライバシーを確保するなど、運用面で工夫することにより、少しでも混雑状況が緩和されるように調整を図ってまいります。</p> <p>避難所等の備蓄では、水・食料、そして簡易ベッドやトイレなどを配備することに加え、企業や団体と災害時協定を締結し、段ボールベッドの確保や、キッチンカーを避難所へ派遣することで温かい食事をお届けすることなど、平常時から取組みを進めています。</p> <p>また初動医療として、超急性期には6か所の緊急医療救護所を開設し、続く急性期には11か所の避難所医療救護所の開設を予定しています。さらに、保健師等による巡回相談を実施し、避難者の健康管理、避難所の衛生管理など災害時の保健医療体制を整備しています。</p> <p>今後も国・都から示されたガイドラインを参考に、また各避難所の運営員会の皆様のご協力を得ながら、訓練などを通じて様々な課題を共有し、避難所の環境改善に向けて取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇不法民泊施設について

質問	回答	対応
<p>中古家屋を買い取り、外国人観光客の宿泊施設として提供していると思われる物件が目につきます。法律で定められた要件を満たしているとは疑いを持たざるを得ないものであり、地域に不安を与えています。小中規模の新築マンションについても、築後すぐに外国人オーナーに転売され、宿泊施設らしき用途で使用されている物件が目につきます。連絡先も不明となり、地域とのつながりを維持することが困難になってきています。</p> <p>また、外国人の方が建物の外でたばこを吸っていたり、大きな声を発しながら長時間たむろしていたり、生活ごみをポイ捨てしたりするなど、一部には迷惑行為も発生しています。</p> <p>住民生活に不安を与えないことを第一に、地域と施設との良好なつながりを保ちつつ、外国人観光客をお迎えしたいものです。行政による実態把握を今一度行っていただき、法律を順守された宿泊施設にて外国人観光客にご利用いただくよう、施設オーナーへの指導をお願いします。また、悪質なオーナーに対する、厳しい規制のある条例などはできないでしょうか。</p>	<p>ホテルや旅館としての許可を得ていない施設や、住宅宿泊事業、いわゆる「民泊」の届出を行っていない施設については、無許可による営業で法令違反となります。</p> <p>そのため、無許可営業の施設に宿泊客が出入りしているようでしたら、生活衛生課へご連絡ください。職員にて現地調査を行い、当該施設のオーナーに対して旅館業の許可の取得や、住宅宿泊事業の届出を行うよう指導します。指導に応じないオーナーについては、関係機関と連携して厳正に対処します。</p> <p>加えて、届出済の施設においても、ごみの問題など周辺環境の悪化がございましたら生活衛生課へご連絡いただき、職員による現地調査と事業者への指導によって改善を図り、区民の皆様の安全・安心の確保に取り組んでまいります。</p>	<p>○</p>



## 《 上 野 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：9月9日（火） 午後1時から（会 場：上野区民館）

### ◇出幅について

質問	回答	対応
<p>コロナ禍の影響で、空気感染リスクの観点から少しずつ出幅が広がり出しました。昔に比べて上野に飲みに来る年齢層の変化もあると思いますが、治安が悪くなり、大声で騒いだり、たばこのポイ捨てをしたりするなど、目に余る行動が確認できます。</p> <p>町会の方からも迷惑していると苦情が多数入っています。元のように出幅の取締りを上野警察署と共に、厳しくしてほしいです。</p>	<p>区では、道路上の不法占用に対応するため、区内全域でパトロールを実施し、是正指導を行っています。加えて繁華街を中心に、区、警察署、商店会等の地域の方と連携し、定期的に合同パトロールも実施しています。</p> <p>道路上に椅子やテーブルを置いての路上営業や、看板、商品の設置など、不法占用の改善に向けては、粘り強く繰り返し指導していくことが必要であると考えています。不法占用が顕著な地域においては、重点的にパトロールを実施するなど警察署と連携し、指導・是正にあたってまいります。</p>	○

◇ごみの捨て方について

質問	回答	対応
<p>台東区のご配慮で蓋付きごみ箱の購入の際、1店舗1個のみ購入費用の半分を補助していただきました。そのような区からの配慮がある中でも未だにごみ箱を使用せず、ごみ袋のまま外へ出し、ねずみやカラスの食料の溜まり場になっている場所がたくさんあります。</p> <p>上野の街に住居、または店舗として働いている皆の街なので、最低限のルールは守り、生活営業での衛生面・安全安心に飲食ができる街となり、客足が伸び、街の活性化につながるのではないかと考えています。</p> <p>今一度、ルールの徹底を促し、指導してほしいと思います。特に、上野駅前通りの夜明けのごみ・吸い殻等は、最悪の状態です。ごみの多い通りにごみ箱等の設置・管理、およびごみの処理をお願いしたいです。</p>	<p>区では、繁華街のねずみ防除対策として、殺鼠剤や罠によるねずみ防除を実施するとともに、町会や商店街等の協力も得ながら、対象範囲内の飲食店に対して蓋付きごみ箱の購入費助成を行いました。また、ねずみ被害が確認できた店舗に対し、蓋付きごみ箱の使用やごみの長時間の残置をしない等の排出時の注意点について、指導を行っています。</p> <p>引き続き、ねずみやカラスによるごみの散乱が見受けられる地域については、町会や商店街等の皆様の協力もいただきながら、ごみ排出時の注意点について店舗等に周知してまいります。</p> <p>なお、区では以前、道路上にごみ箱を設置していましたが、家庭ごみや粗大ごみなどが捨てられてしまう状況が続いたため、現在では設置をしていません。まちの景観と衛生を守るため、来街者に対してはごみは各自で持ち帰っていただくよう、引き続き強く訴えてまいります。</p>	○

◇露天商の取締りについて

質問	回答	対応
<p>最近、露天商の姿が見られるようになってきました。警察が取締りをしてもらってもごっこで、注意された露天商はその場では店を撤去しますが、5分もしないうちにまた出店している姿も見られています。罰金制や何かしらの対策をしないと、なかなか難しいのではないかと考えています。</p> <p>再び取締りの強化を、区から警察署にお願いしていただきたいです。</p>	<p>道路上で許可なく露店営業をすることは、道路交通法、道路法で禁止されています。区では区内各警察署とも連携し、道路の不正使用、不法占用の改善に向けて、粘り強く繰り返し指導を行っているところです。</p> <p>露天商については、上野6丁目で1件確認をしています。こちらは所轄の上野警察署とも情報を共有し、対応にあたっています。</p> <p>引き続き、適宜パトロールを実施し、道路の安全かつ円滑な交通の確保に努めてまいります。</p>	○

◇指導員の有効活用について

質問	回答	対応
<p>現在、客引き防止のため指導員が配置されていますが、昼間の時間帯は比較的暇そうにしています。</p> <p>そこで、この時間帯に路上の管理をしてはいかがでしょうか。放置自転車の管理、飲食店の出幅の管理など、区役所と警察との橋渡しの活動ができると思います。指導員の有効活用をお願いします。</p>	<p>区では、平成29年に施行した「客引き行為等防止条例」に基づき、上野2・4・6丁目の特定地区において、指導員による巡回指導を行っています。巡回指導は日中から夜間にかけて行っており、この取組みによって客引き行為が大幅に減少しました。</p> <p>一方で、コロナ禍後の国内外からの来街者の増加により、客引き行為等の抑止は今後も重要だと考えています。そのため、引き続き台東区を訪れる皆様が安心して過ごせるよう、客引き行為等の防止に特化した巡回指導が必要だと考えています。</p> <p>また、放置自転車や道路上の不法占用における指導員も同様で、それぞれの専門分野において、その目的に特化した巡回・指導を行っていますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。</p>	<p>△</p>

◇国道沿い植込みのごみの不法投棄に関する清掃のお願い

質問	回答	対応
<p>昭和通り沿いの植込みでは、ごみの不法投棄が増加しており、美観の悪化や衛生面での問題が住民から多数寄せられています。</p> <p>町会でも定期的に大江戸清掃隊で清掃活動を行っていますが、量が多くて手に負えない状況もあるため、行政による対応（定期的な清掃、看板の設置等）をご検討いただけますようお願いいたします。</p> <p>町会から国土交通省に植込みの清掃を依頼しましたが、継続性がありません。頻繁に清掃してもらおうよう、区からも国への働きかけをお願いします。</p>	<p>昭和通り沿いでのごみの不法投棄については、現状を把握しており、随時管理者である東京国道事務所亀有出張所へ連絡し、清掃や不法投棄対策について依頼をしているところです。</p> <p>また、区でも昭和通り沿いの景観を改善するため、清掃イベントを行うなど重点的に取組みを実施しています。今年も大江戸清掃隊にご登録いただいている皆様や、一般の方のご協力をいただき、「ごみゼロキャンペーン」を実施したほか、毎月10日の「たいとうクリーンアップデー」では、区職員がごみ拾いを行うなど、現地の状況を注視しています。</p> <p>この度のご意見を含め、東京国道事務所に対しては、改めて改善の要望を行います。</p> <p>今後もこうした取組みを通じ、地域のみなさんの力をお借りしながら、まちの美化の促進に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>	<p>●</p>

## 《 浅草寿地区町会連合会 》

日時：11月7日（金） 午後4時から（会 場：寿区民館）

### ◇車道と歩道の段差解消について

質問	回答	対応
<p>江戸通りなどの国道はだいぶ解消されましたが、区道では車道と歩道の段差が解消されていないように思います。車道から住居や駐車スペースに移動する際、車道と歩道との段差があるところが多く、たとえわずかな段差であっても、杖をついた高齢者はつまずきやすくなっています。また、車椅子利用者にとっては、走行の妨げとなってしまいます。</p> <p>浅草税務署の入口周辺もそうですが、私自身も何度もつまずいたことがあり、危険を感じています。早急に区道において、車道と歩道の段差解消の対応をお願いしたいと思います。</p>	<p>区では、全ての利用者が安全かつ快適に道路を通行できるよう、歩道の整備やバリアフリー化を行い、安全・安心な道づくりを進めています。現在、歩道が整備された区道は約49kmあり、そのうちバリアフリー化された区道は約21kmとなっています。まだ半分程度ではありますが、バリアフリー化は道路利用者の皆様にとって重要であると考えており、今後も計画的に歩道のバリアフリー化に努めてまいります。</p> <p>なお、浅草税務署前の道路は、令和8年1月頃から歩道のバリアフリー化を含む、全面的な道路改良工事を予定しています。工事は概ね1年ほどかかる予定であり、工事中は振動・騒音などでご迷惑をおかけすると思いますが、沿道の皆様のご協力をいただきながら進めてまいりたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。</p>	◇

◇避難所の防災倉庫について

質問	回答	対応
<p>田原小学校を避難所としている8町会の災害対策用備蓄品は、今後、小学校の大規模改修工事の関係等で、保管場所を校舎内3か所に分散する予定であると区から告げられています。</p> <p>しかし、示された予定場所は狭く、保管場所として難しい状況となっています。児童がいながら改修工事になる予定と聞いていますが、建て替えのほうは全てにおいて広いスペースを確保でき、町会の災害対策用備蓄品の保管場所も1か所に集約できるのではないかと考えます。</p> <p>建て替えの場合、仮校舎の設置場所の確保が問題であるとのことですが、例えば、「都営バス寿町操車場」の土地を区で買い取り、仮校舎を設置してはどうでしょうか。</p>	<p>田原小学校・田原幼稚園の大規模改修の実施については、来年度から工事を着手するため、計画を変更することは難しい状況です。</p> <p>なお、ご提案いただきました「都営バス寿町操車場」の土地の買い取りについては、東京都の担当部署に確認したところ、今後も都営バスの折り返し場所として継続利用することのことで、現状では土地を買い取ることは難しいと考えています。</p> <p>また、移設する災害対策用備蓄品については、1か所に集約できる倉庫スペースがないため、やむを得ず複数箇所に保管するように検討しています。</p> <p>地域防災計画のもと避難所設営等に支障がないように、今後とも備蓄品の配置の検討を進めてまいります。</p>	<p>△</p>

◇国道・都道にある道路標識について

質問	回答	対応
<p>浅草寿地区には、国道1本と都道4本が交差する交差点が4か所もあり、この交差点に設置された道路標識に関して伺いたいと思います。</p> <p>一例を挙げると、浅草通りと江戸通り（駒形橋西詰）の交差点に設置された道路標識は、国道側と都道側の双方から視認することができますが、それぞれ通りの名称の文字が薄くなっており、読み取することは難しい状況です。</p> <p>この5つの路線は多種多様の利用があるだけでなく、緊急輸送道路としても指定されています。このような重要な路線の道路標識が、経年劣化が著しい状況のまま放置されています。他の交差点も同様です。</p> <p>区は、国道や都道の所管とどのような連携をして保守管理をしているのか、そして国道と都道の所管も相互に連携をして保守管理をしているのか、伺いたいと思います。</p>	<p>道路においては、それぞれの道路を管理している道路管理者が保守管理をしています。</p> <p>ご指摘いただいた4か所の当該標識については、国道内にあるため、都道の通り名も含め国道で管理しています。</p> <p>そのため、管理者の東京国道事務所亀有出張所に対し、いただいたご意見内容について対応を要望いたしました。</p>	<p>●</p>

◇訪日外国人への対応と町会活動について

質問	回答	対応
<p>近年、死亡相続や転居などで、区内の土地家屋が次々と外国人に売却されていることに対し、大いに懸念しています。</p> <p>そして、その場所がリノベーションされて、外国人向けのホテルや民泊施設となっており、近隣の住民に迷惑が及ぶ例が数多くあります。例えば、部屋数に比べて施設のごみ箱の容量が足りず、カラスによるごみの散乱の原因となったり、喫煙のマナー違反による問題があったり、真夜中にスーツケースを運ぶ音が睡眠妨害となったりしています。</p> <p>区が一層観光に力を入れるのであれば、これらの問題を解決できるようにしていただきたいと思います。</p> <p>また、売却された土地が、戸建てからマンションに変わってきている場合も多くあります。一見住民数が増加し、良い方向に向かっているかのようにですが、実際は働きかけても町会に加入するケースは非常に少なく、近い将来、町会活動が難しくなってしまうことが容易に想定できます。</p> <p>これらの問題に、区で対応いただきたいと要望します。</p>	<p>ホテルや民泊の運営については、周辺地域の生活環境に悪影響を及ぼさないために、事業者には騒音の防止やごみの適正な排出、喫煙マナーの遵守を義務づけています。</p> <p>不適切なごみ出しや喫煙マナーの違反がありましたら、生活衛生課へご連絡ください。職員が現地を確認した上で、事業者に対して法令遵守の徹底を図るよう指導します。なお、真夜中の時間帯における騒音の問題については、警察へ110番通報をお願いいたします。</p> <p>今後も事業者に対して適正な運営を徹底させ、区民の皆様の安全・安心の確保に努めてまいります。</p> <p>次に、町会への加入促進についてです。新しく引っ越しされてきた方に、町会や町会活動のことを伝え、理解してもらうためには、町会PRチラシや広報紙の作成、デジタルを活用した広報など、町会に興味を持ってもらえるような取組みが効果的です。そのため今年度、「アドバイザー派遣事業」の取組みの中でPRチラシや広報紙の作成、デジタルを活用した広報についての情報交換会を実施しました。</p> <p>区としては今後も町会の広報活動への支援を継続し、町会加入促進に努めてまいります。</p>	<p>○</p>

◇区の業務効率化の促進について

質問	回答	対応
<p>区の業務効率化を促進していただきたいです。</p> <p>例えば、住民税の還付がある場合、毎回区は“紙文書”にてどこの口座に還付希望であるかと郵送してきます。マイナンバーカードに登録している口座に自動で還付すれば良いと思います。毎年、区役所への手続きの際に改善を提案していますが、「そのような体制になっていません」とのことです。</p> <p>また、町会の様々な助成金の手続きに関しても、申請プロセスをオンラインでできるようにしていただきたいです。形式だけの書類は不要だと考えます。</p>	<p>区では、「台東区情報化推進計画」のもと、オンラインによる手続きの拡大やキャッシュレス決済の導入など、区民サービスの向上と区役所業務の効率化に取り組んでまいりました。</p> <p>ただし、住民税の還付手続きについては、「各給付金等を受け取る際、公金受取口座の利用の意思確認を申請書等に記入し、各自治体に提出する」という国の方針があります。その方針に則り、現状区では、住民税の還付発生ごとに公金受取口座の利用の意思確認と併せて還付請求書をお送りしています。</p> <p>なお、今後は業務効率化の取組みとして、公金受取口座への2回目以降の還付手続きの簡略化など、来年のシステム更改で実施する予定です。</p> <p>次に、町会の様々な助成金の手続きについてです。区では、令和3年に申請書等の押印見直しを行いました。その中で補助金・還付金等に係る申請書等のうち、町会を含む「団体や法人の代表者等による申請等の手続き」においてはより慎重を期す必要があることから、現在も押印を求めることとしています。</p> <p>そのため、今後とも書面での提出を求めるものもあると思いますが、可能なものについてはオンラインで対応できるようにするなど、皆様の負担を軽減できるよう引き続き、申請手続きや事務処理の効率化を図ってまいります。</p>	<p>◇</p>



## 《 雷 門 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月10日（月） 午前10時から（会 場：雷門区民館）

### ◇火葬場の件について

質問	回答	対応
<p>先日、新聞で民営火葬場に関する記事を目にしました。火葬料金が割高になるとのことで、我々として不安でなりません。</p> <p>この件については台東区だけの問題に留まらず、東京都と協力して一緒に対応策を立てていただきたいと思います。</p>	<p>火葬場は区民生活にとって不可欠であり、公共的な施設であることから、昨今の物価高騰による葬儀費用の負担増加は、深刻な問題であると認識しています。</p> <p>現在、特別区区民葬儀における23区共通の助成制度について、令和8年度創設に向けて検討をしているところです。詳細が決まりましたら、改めて周知させていただきます。</p>	○

◇ワンルームマンション問題について

質問	回答	対応
<p>近年、5年間で町内や隣接区域に複数のマンションが建築されましたが、全て賃貸マンションかつワンルームがほとんどで、ファミリータイプはわずかであり、単身者の居住者ばかりです。</p> <p>子供のいない町は、いずれ町の体をなさなくなり、現に田原小学校では生徒数の減少が深刻です。</p> <p>条例等でファミリー層が入れるようにできないのか、伺いたいと思います。</p>	<p>区では、「東京都台東区集合住宅の建築及び管理に関する条例」により、総戸数10戸以上の集合住宅の建設に対して、住戸専用面積や駐輪場の設置などの基本的な事項を定め、良好な住環境の形成に努めています。</p> <p>これまでも総戸数15戸以上の集合住宅に対しては、家族向け住戸の設置を義務付けるなど、幅広い居住者層の形成や地域と共存できる集合住宅の供給を誘導してまいりました。そして、令和7年3月に策定した「台東区住宅マスタープラン」では、新たに建築される集合住宅の家族向け住戸のうち、50㎡以上の住戸の供給誘導を図るための検討を進めています。</p> <p>引き続き、集合住宅条例による家族向け住戸の供給誘導を図るほか、多様な世帯が快適に暮らすことのできる良質な住宅・住環境の整備を図ってまいります。</p>	<p>◇</p>

◇自動販売機の回収ボックスについて

質問	回答	対応
<p>最近、自動販売機横の回収ボックスを撤去するケースが多く見受けられます。原因は何でもかんでもボックスに入れる観光客等がいる影響だと思いますが、実際に自動販売機で買ったものが捨てられず自転車のカゴに入れられていたり、道路に散乱したりしています。</p> <p>メーカーによっては、回収ボックスを工夫してほかの物は捨てられないように設置しています。何かほかに良い方法はないでしょうか。</p>	<p>区では、「東京都台東区ポイ捨て行為等の防止に関する条例」に基づき、ポイ捨て行為を禁止し、まちの美化促進を図っています。また、ポイ捨て行為を防止するためマナー指導員による巡回指導を実施するとともに、各種啓発物の配布や、ポイ捨て禁止を明示した「路面標示シート」の貼り付けなどによるマナー啓発に取り組んでいます。</p> <p>自動販売機の容器回収ボックスについては、飲料の容器以外のごみが無秩序に捨てられることが続き、残念ながら事業者が撤去するケースがあると聞いています。環境課から連絡させていただきますので、自動販売機の周辺でペットボトル等の散乱している場所がございましたら、お申し付けください。回収ボックスの設置について、事業者へ依頼の連絡をさせていただきます。</p> <p>※令和7年11月、質問者に状況を確認し、今後の対応について説明しました。(環境課)</p>	<p>—</p>

◇会館前区道の補修工事について

質問	回答	対応
<p>以前より公園本通り（ホッピー通り）の補修工事の話を聞いていましたが、未だ行われる様子がありません。観光客も増えているので多くの人が通行していますが、地面のコンクリート部分もかなり状態が悪く、景観も良くありません。</p> <p>区道であるため、区に早く対応していただきたいです。工事が遅れている理由があるのであれば、今後どのように計画しているのでしょうか。</p>	<p>公園本通りについては、以前の整備から40年以上が経過し、舗装が劣化していることから全面的な道路改良工事を計画していました。しかし現状としては、道路にはみ出している営業、越境している工作物等が確認されており、区では警察と連携して除却に取り組んでまいりましたが、全てが除却されていません。このため、未だ道路改良工事を行うことができない状況です。</p> <p>引き続き、道路に越境した工作物等の除却に取り組み、除却された段階で改めて全面的な道路工事を行ってまいります。</p> <p>なお、担当の土木課より連絡させていただき、状態が悪い箇所については応急的な補修工事に対応いたします。</p> <p>※令和7年11月、質問者立会いのもと現地確認を行い、状態の悪い箇所については令和8年1月より補修工事を実施しています。（土木課）</p>	○

◇観光バスの降車場について

質問	回答	対応
<p>「雷門通り降車場」について、現在、付近のマンションの工事の影響もあり特に狭くなっている状況である中、バスから降りた観光客が広がって歩いています。それにより、非常に一般の人が歩きづらい状況になっています。また、時間外に降車場を使っているバスもあります。</p> <p>さらに、警備員の勤務態度についても、改善をお願いしたいと思います。</p>	<p>観光客の増加により、浅草地区に来訪するバス台数が増えており、降車場付近での混雑や路上駐車が多い状況は認識しています。</p> <p>そのため、降車客の誘導にあたる誘導警備員の増員を実施しました。</p> <p>今後も観光客の動向を見ながら、適切な誘導警備員の配置を行うとともに、事業者に対する指導も行ってまいります。</p>	◎

## 《 清 川 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月12日（水） 午後4時から（会 場：清川区民館）

### ◇トイレトラックおよび熱中症対策について

質問	回答	対応
<p>新聞に、他の区で大規模災害発生時に備えてトイレトラックを1台購入し、断水時等でも対応できるように計画していることが掲載されていました。我が台東区でも同様に、ぜひ設置を検討くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>また、夏場における停電時の避難所の熱中症対策についても、検討いただきますようお願いいたします。</p>	<p>まず、トイレトラックについては、断水時においても水洗トイレに近い状態で使用できるほか、移動ができることで、災害時のトイレ不足を解消する一つの手段であると考えています。区では現在、「災害時トイレ・確保管理指針」の策定を進め、災害時トイレの確保や環境などの課題を整理し、課題解決に向けた取組みを進めています。トイレトラックの導入については、現在策定中の指針の中で検討を進めてまいります。</p> <p>次に、災害時に電気、ガス、水道が使えない場合の避難所の熱中症対策についてです。避難所となる各施設については改修工事の機会を捉え、太陽光パネルや蓄電池の設置、非常用発電機などの更新を進め、災害時に電力供給ができる体制を整えています。しかし災害時の限られた発電能力から、避難所全ての冷房を稼働することは難しいことが予想されます。そのため、避難所内の一部に冷房を稼働した涼める場所を設置するなど、避難所運営委員会とも相談をしながら、運用面においても工夫をして対応してまいります。</p>	◇

◇ぐるーりめぐりんの増便について

質問	回答	対応
<p>高層の新築マンションが竣工し、さらに別のマンションができる予定があり、多くの新しい住民が入居予定です。それに伴い、地域の人口が増加し、通勤・通学・買い物等での公共交通機関の利用需要が高まっています。</p> <p>しかし、現状では都バスはもとより、ぐるーりめぐりんの特に朝夕の混雑や待ち時間の長さが、住民生活に支障をきたしている状況です。</p> <p>つきましては、地域住民の利便性向上と交通混雑緩和のため、ぐるーりめぐりんの運行本数の増便をご検討いただきますようお願い申し上げます。</p>	<p>ぐるーりめぐりんは多くの方にご利用いただいております。朝夕の混雑や待ち時間についてのご意見も利用者の皆様からいただいております。しかし、近年の全国的なバス運転士不足の影響もあり、現行ダイヤからの終日での増便は現状難しい状況です。</p> <p>なお、現行ダイヤでは平日朝の混雑対策として、2便の増便を実施しています。こちらをさらに増便することができないか、運行事業者との協議を行ってまいります。</p> <p>多くの皆様にご利用いただけるよう、安心して快適な「めぐりん」の維持・運行に今後も努めてまいります。</p>	<p>△</p>

◇人が常駐しない戸建住宅風のホテルについて

質問	回答	対応
<p>入口にホテルの看板が取り付けられている、戸建住宅のような建物が近所にあります。いつもシャッターが閉まっており、ポストには郵便物やチラシも溜まっているようで、人が常駐している気配がありません。しかし時折、複数の外国人が宿泊のために出入りしています。</p> <p>区のホームページで調べると、そこは旅館業施設一覧に掲載されています。また、すぐ近くに児童館がありますが、奥まったところにある建物で、火災などがあっても対処できないのではないかと思います。</p> <p>区から開設許可が得られている施設だとは思いますが、開設時だけでなくその後においても、実態調査や施設へのヒアリングなどを行っていただけないでしょうか。</p>	<p>当該施設については、営業者から周辺住居に対する周知実施報告書を受領しています。また、児童館に対しては、東京都を通じて台東保健所からも意見照会を行い、問題がないことを確認しています。</p> <p>今回のお申し出を受けて現場確認を行い、宿泊客がいる状態で管理者が不在である状況は確認できませんでしたが、営業者に管理運営方法について聞き取りするとともに、宿泊客がいる際には常駐することを改めて指導しました。また、ポストや施設周囲を適切に管理するようお伝えしました。もしホテルの営業に関して、今後も不安やお困りの点がある場合には調査および指導を行いますので、生活衛生課までご相談ください。</p> <p>引き続き、適正な管理運営についての周知、および問題のある施設については改善指導を行ってまいります。</p>	<p>◎</p>

◇インバウンド増加に伴う北めぐりんの混雑と料金設定について

質問	回答	対応
<p>私たちがよく利用する北めぐりんは、近年のインバウンドでとても混雑しています。とても大きな荷物を複数持って乗車されることが多く、ただでさえ狭い車内がさらに狭くなり、地元の住民が乗車できないケースが多くあります。また乗車しても、車内でその大きな荷物が体にぶつかるなどの被害もあります。</p> <p>区民の税金を使って運行しているバスなのに、地元の住民が利用できない、利用しにくいというのは納得ができません。ワンマン運行だと難しいとは思いますが、せめて人一人分の大きさを占めるような荷物を乗せるなら、その分多くの運賃を徴収するなど何か策はないでしょうか。</p>	<p>近年、めぐりんは外国人観光客にも多く利用されています。大きな荷物等を持っての乗車についてのご意見は、地元の利用者の皆様からいただいております。運転士の判断によって混雑時には乗車をお断りしたり、次の便を案内したりするなどの声掛けを実施しています。また、車内に掲出したポスターにより、大きな荷物の車内持ち込みについての啓発を行っています。</p> <p>都バスや民間事業者の動向も引き続き注視しながら、バス停留所に注意喚起のステッカーを掲出するなど、さらなる対策の実施を運行事業者と協議してまいります。</p> <p>今後も多くの地元の皆様に快適にご利用いただけるよう、「めぐりん」の運行に努めてまいります。</p>	<p>○</p>



## 《 谷 中 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：12月5日（金） 午後1時から（会 場：谷中区民館）

### ◇自転車置き場の駐輪違反取締り強化について

質問	回答	対応
<p>日暮里駅西口自転車置き場は、契約の駐輪料金を支払っている自転車のみ止められるシステムですが、許可シールを貼っていない自転車が度々停まっているのを見かけます。</p> <p>その状態を気にして度々見えますが、きちんと取締りをしている様子は見受けられません。「契約をしてください」のような紙を巻き付けてはいますが、よく見ると1か月以上前の日付も見受けられます。</p> <p>せめて月数回くらいは、違反駐輪の撤去もしくは同等の取締りをお願いいたします。</p>	<p>無許可で駐輪している自転車については、毎日の巡回で取締りを実施しています。不正駐輪を発見した場合は、指導・警告を行い、その後も改善がされない場合は、一定期間様子を見た上で撤去を行っています。</p> <p>なお区では、10月より総合自転車対策事業を開始しました。これに伴いご指摘のような無許可駐輪を発見後、巡回指導員が所持している携帯端末によって早期の報告、および今より高い頻度での撤去が実施できるようになる予定です。</p>	○

◇上野桜木2丁目信号機での自動車と歩行者の意識違いによる危険交差点について

質問	回答	対応
<p>上野桜木2丁目信号機の歩道が非常に狭いために、歩行者が信号待ちをする場合、公衆便所側の歩道に出てしまいます。歩道の狭さによって自転車とのすれ違いも難しく、歩道内には収まりません。歩行者も横断歩道上での信号待ちを意識しておらず、車両側の危険運転だと思い込んでいます。</p> <p>左折車両側も横断歩道を通過するのは当然ですが、歩行者の近くをかすめながら左折していきます。公衆便所とコンビニがある交差点のため、車両の出入りおよび違法駐車が多く、歩行者の通行の妨げになる機会が非常に多くなっています。</p> <p>歩道の延長が望ましいですが、横断歩道の長さを調節してポール設置等を行い、左折車両の左折ポイントを変更できないでしょうか。</p>	<p>ご指摘いただいた場所は、都道の言問通り、公衆トイレ側の区道、信号や横断歩道等の交通管理者である警察と、管理者が複数にまたがる箇所になります。</p> <p>今回のご意見を踏まえて関係機関と協議を行い、歩行者の安全対策について働きかけてまいります。</p> <p>※令和7年12月、都および警察へご意見内容をお伝えしました。（土木課）</p>	<p>●</p>

◇仮称「みんなの広場」へのベンチの設置について

質問	回答	対応
<p>今回「上野桜木子どもの遊び場」が、多世代が利用可能な「みんなの広場」へと利用枠が広がりましたが、これからは高齢の方々の利用が増えると思われます。とても広くて安全な広場ではありますが、少し座ったり、ひと休みしたりできるところが全くありません。</p> <p>近隣住民の憩いの場も兼ねているので、可能ならベンチを設置していただくとより使いやすい広場になると考えられますので、ご検討いただきたくお願い申し上げます。</p>	<p>上野桜木みんなの広場は、今後子供だけでなく、多世代の方が利用できるよう運用の検討を進めているところです。</p> <p>休憩用のベンチに関しては、広場を多くの方が安全に利用できるよう、設置について検討してまいります。</p> <p>引き続き、町会の皆様にもご相談させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>	<p>◇</p>

◇五重の塔跡地こども広場の災害時の有効活用について

質問	回答	対応
<p>五重の塔跡地こども広場を災害時に、一時避難場所として活用することとなっていますが、広場には飲料水として使用できる深井戸があることから、災害時にある程度の期間（1，2週間）の活動ができる施設にできないかと考えています。</p> <p>公園は都の管理下にあり、都と区が連携して災害時には炊き出し、一時的宿泊（最長3日程度）が可能な施設の整備をお願いしたいと思います。一時避難なので簡易的なものになると思いますが、災害時の備品保管庫を設置して、炊き出し用具、簡易テント（4人用）、粘着テープ、ロープ、災害用救助セット、また普通ベンチから炊き出し用ベンチへの移行などを提案します。</p> <p>谷中霊園は都霊園であり、その中にあ る公園も都の管理となっておりハードルは高いと思いますが、都と連携を図り、実現できるようお願いいたします。</p>	<p>区では、避難所が避難者の受け入れとともに、被災者支援の地域活動拠点になることを想定し、資機材を備蓄しています。</p> <p>ご提案の広場を含む谷中霊園は、都管理地であり、また災害時の広域避難場所として、台東区の谷中、上野桜木地域のほか、荒川区の西日暮里地域の一部の住民の方が避難する場所として指定されています。両区での利用が見込まれ、また谷中霊園内には広場が少ないことから、一時的な宿泊場所等の活用については難しいと考えています。</p> <p>なお、谷中霊園の震災時の活用方法については、今後東京都と協議してまいります。</p> <p>発災時、地域の公共スペースは様々な役割が期待されていることから、発災時の地域の被害や復興状況に応じて活用を図ってまいります。</p>	<p>△</p>

◇大規模災害時における谷中地区内の電柱倒壊被害対策について

質問	回答	対応
<p>阪神淡路大震災では、約8,100本の電柱が倒壊しました。停電や交通の寸断などが起き、二次災害が発生することにもなり、避難する住民の移動や救助にも苦慮することになりました。</p> <p>谷中地区は都道、区道、私道が入り組んでおり、電柱の電力ケーブル・電話ケーブル等が無数に入り込み、電柱1本にかかる重量も重くて傾くものも見受けられ、大規模災害が起きた場合に倒壊するのは目に見えています。</p> <p>無電柱化には時間もお金もかかり、簡単に施工工事等ができないことは承知しています。公的予算も限りがあることから、まずは関係機関と連携を図り、電柱の耐震強化、電力ケーブル・電話ケーブル等を取りまとめて軽量化するなどの対策をお願いいたします。</p> <p>区としてはどのようなお考えか、お聞かせください。</p>	<p>電柱を区道上に設置する際には、道路占用許可が必要であり、区では設置位置が基準を満たすか否か等を確認しています。しかし、電柱やケーブルの規格や仕様については、管理者である東京電力やNTTに対応していただくものであり、区として対策を講じることができない状況です。</p> <p>そのため区としては、現状「台東区無電柱化推進計画」により、優先的に整備をする路線を選定して、防災機能の強化に取り組んでいます。そのうち谷中地区では、現在谷中3丁目の六阿弥陀通りの一部の区間において、整備のための準備を進めています。事業期間やコスト、道路条件などの課題もありますが、災害に強い街づくりに向け、これからも無電柱化の推進に取り組んでまいります。</p> <p>なお、区道上で現状傾いている等の電柱がございましたら、各管理者に是正を依頼することは可能ですので、道路管理課までご連絡ください。</p>	<p>—</p>

◇蚊の対策について

質問	回答	対応
<p>谷中は寺町・江戸の町で自然が豊かですが、蚊の対策をお願いしたいと思います。</p> <p>谷中の町は5月の始めから10月いっぱい頃まで半年に渡り、蚊の発生に悩まされます。蚊は伝染病を媒介する恐れもあり、駆除しなければなりません。以前は区役所から機械を借りて、町会の役員がシーズン中に2, 3回くらい薬剤散布をしていました。しかし、台東区から健康上悪影響の恐れがあると、中止になりました。</p> <p>そこで提案ですが、台東区より専門の業者を派遣していただき、蚊の駆除の作業をしていただきたいと思います。</p>	<p>以前は皆様のご協力のもと薬剤を散布し、蚊の駆除を実施していました。しかし、薬剤の散布による環境や健康への影響を考慮し、平成12年から区内一律の薬剤散布を廃止しています。</p> <p>その後、区では殺虫消毒業者に委託し、毎年4月から11月まで、区内全域の区道や公園、また谷中霊園において、蚊の生息調査や、蚊が発生しないよう雨水マス等へ昆虫成長制御剤の投入を行っています。またデング熱等、蚊媒介感染症の病原体保有調査も行い、区公式ホームページで結果を公表しています。</p> <p>さらに、区民の皆様には、蚊の発生を防止するために家の周りを点検し、「たまり水」を作らぬよう広報等で呼びかけています。</p> <p>町会内で蚊が発生してお困りの場所があれば、生活衛生課までご相談ください。</p>	<p>—</p>

◇歩行者と自転車と電動キックボード等の安全通行について

質問	回答	対応
<p>車道でも歩道でもスピードを出して走る電動キックボードによって、歩行者の安全が脅かされています。</p> <p>警察と相談して、歩行者の安全を考える方策を導き出してほしいと思います。</p>	<p>電動キックボードの運転マナーおよびルールについては、区公式ホームページ等で周知・啓発をしているほか、区内警察・関係機関と協力し、広く周知するよう努めています。今後も警察などと連携してさらなる啓発に努めていくとともに、今回取締りの強化についてご意見があったことは警察に情報提供いたします。</p> <p>なお後日、交通対策課からご連絡させていただきますので、具体的な危険な箇所をお知らせいただければと思います。</p> <p>※令和7年12月、質問者に状況の確認と説明を行い、警察へ情報提供しました。(交通対策課)</p>	<p>●</p>

◇インバウンド急増に対応する都市計画について

質問	回答	対応
<p>谷中地区では、猛暑の中で観光客が休憩できる場所を求めて苦勞している様子がよく見られます。上野公園から谷中地区中心へ移動する方々が多く、途中で休憩する場所が非常に少ない状況です。「藝大さくら通り」に至っては、車の通行量が多い狭い道ですが、都市計画制限により飲食店の出店ができない状況です。</p> <p>回遊性を考えると都市計画制限を撤廃するか、近隣商業などの都市計画変更をするべきではないでしょうか。「観光都市台東」を謳うのであれば、このような所でお店をやりたいという方がいたら、区として応援してあげる姿勢があっても良いと思います。</p> <p>都市計画について、地域との交流も持ちながら考え直す時期に来ているのではないかと思います。区長のお考えはいかがでしょうか。</p>	<p>上野桜木を含む谷中地区の一部は「文教地区」に指定されており、「東京都文教地区建築条例」に基づいて建物の用途が規制されています。文教地区は教育環境を守るため、都市計画で特別に指定された区域です。</p> <p>そのため、「第一種中高層住居専用地域」などの用途地域に文教地区が重ねて指定されている地域は、飲食店の設置が認められていません。なお、上野桜木1丁目6番から10番までの「藝大さくら通り」沿いは、「第一種住居地域」に指定されており、飲食店の設置が可能です。</p> <p>もし地域で用途地域や文教地区など都市計画の見直しを検討される場合は、住民の皆さんの合意形成が前提となります。また、「藝大さくら通り」は都道であり、東京都とも協議が必要と考えます。その上で都市計画法に基づき、東京都の方針では原則、地区計画の指定と一体で手続きを進めることになっています。</p> <p>谷中地区では、これまでも町会や「谷中地区まちづくり協議会」と共に地域づくりを進めてきました。今後も地域の皆様としっかり連携しながら、まちづくりに取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

## 《 東 上 野 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：12月5日（金） 午後4時から（会 場：東上野区民館）

### ◇旧下谷小学校の跡地の利用等について

質問	回答	対応
<p>旧下谷小学校の跡地は現在工事中です。旧下谷小学校の跡地に上野警察署が移転するのがいつなのか、教えていただきたいです。</p> <p>また、2年前にもお伺いしましたが、上野警察署が旧下谷小学校の跡地に移転した後、上野警察署が使用していた敷地について区がいつ、どのように利用されるのか教えてください。</p>	<p>上野警察署の移転時期については、令和12年度の中頃の予定であると警視庁から伺っています。また、現在の上野警察署の敷地については、区と警視庁が実施している土地区画整理事業により、将来、区の敷地になる予定です。</p> <p>上野警察署の敷地を含む東上野四丁目2番・3番街区では、現在、区も参加する再開発準備組合において、2030年代半ばの再開発事業の実現を目指し、施設計画等の検討を進めています。再開発事業において、区は上野警察署の敷地の権利変換により、再開発建物の一部を取得することになる予定です。</p> <p>そのため、区では現在、東上野地区のさらなる活性化や地域の価値・魅力の向上に向け、その活用方法について検討しています。</p> <p>引き続き、他の組合員や事業協力者である東京メトロ・大林組と連携しながら、区のランドマークとなる魅力ある施設の実現を目指してまいります。</p>	—

◇西町公園について

質問	回答	対応
<p>西町公園の西側の入口を入れて右側に、1 mくらいの花壇のようなスペースがあります。残念なことに現在は朽ちた切株が2本、雑草が枯れた状態になっています。そのせいか、空き缶や食べ物の空き袋などが捨てられていることがあります。清掃の方がきれいにしていただき、また汚されてしまいます。</p> <p>せっかくのスペースがもったいなく感じるので、今後どう活用するかなど何かお考えでしょうか。</p>	<p>該当箇所は植込地ですが、植栽が枯れてしまったため伐採を行いました。そのため土が露出し、雑草が生えた状態になっています。</p> <p>今後切株を撤去し、今年度中にこの植込地部分にツツジを植える予定です。</p> <p>植栽があることで安らぎも生まれ、ポイ捨て抑止の一助になると考えていますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。</p> <p>※令和7年12月、切株の撤去およびツツジの植栽を行いました。（公園課）</p>	◎

◇町会加入率低下による町会員とマンション住人の連携について

質問	回答	対応
<p>当町会区域内でマンション建設が増加しており、町会への加入率低下が深刻な課題になっています。地域防災活動の展開には町会員とマンション住人との連携が不可欠であるため、地域最大の課題と認識しています。</p> <p>マンションの問題については、町会員から過去に住宅課へ情報提供させていたしていますが、危機・災害対策課など関係部署の連携が不透明です。</p> <p>この問題への現在の取組状況と、区長のご認識を伺いたいです。</p>	<p>町会加入促進の取組みとしては、区公式ホームページ上で、自分がどこの町会に所属しているのかを転入者向けに検索できるシステムを構築したり、地区ごとの町会活動を案内するパンフレットを作成して配布したりしています。また、各町会の活動を知っていただくよう、情報発信に関する支援などにも取り組んでいます。</p> <p>しかしご質問は、防災に関して庁内の関係部署間の連携が不透明というご指摘です。現在東京都では、防災に関して町会とマンションの連携を図ろうと、「町会・マンションみんなで防災訓練」事業を行っています。このような事業が行われているのは、倒壊の恐れや周辺で延焼の危険がある場合を除き、在宅避難を推進するためです。そのため町会とマンションの連携が必要であり、庁内の関係部署間の連携も必要であると認識しています。</p> <p>今回のご意見を参考にし、町会とマンションの連携促進に向けてどんなことができるのかを、今後検討してまいります。</p>	☆

◇宿泊施設に対する指導等について

質問	回答	対応
<p>昨今、外国からのお客様の増加に伴い、当町会内もホテルが増加し、住民とのトラブルが何件か報告されています。その一つとして、路地や建物の間などにごみや不要となったキャリーバック等が放置されています。</p> <p>それら所有者不明のごみをどのように処分したら良いか、教えてください。また、ホテルや民泊事業所等に対し、区の条例等で抑止に向けた対策を検討していただけないでしょうか。</p>	<p>所有者が不明なごみや不法投棄ごみについては、投棄された場所が「道路」の場合は道路管理者、「私道」や「私有地内」の場合は、土地の所有者または管理者が責任を持って処理する必要があります。そのため、投棄場所が私道や私有地だった場合、区が回収することはできませんが、民間の廃棄物処理業者の紹介を行っていますので、台東清掃事務所までご連絡ください。</p> <p>また、ホテルや民泊の運営については、周辺地域の生活環境に悪影響を及ぼさないために、事業者には騒音の防止やごみの適正な排出、喫煙マナーの遵守を義務づけています。</p> <p>不適切なごみ出しや喫煙マナーの違反などがあった場合は、生活衛生課へご連絡ください。職員が現地を確認した上で、事業者に対して法令遵守の徹底を図るよう指導します。改善されない場合は、法令に基づき厳正に対処します。なお、真夜中の時間帯における騒音の問題については、恐れ入りますが警察へ110番通報をお願いいたします。</p> <p>引き続き、区民の皆様の生活環境を守るために取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇屋上緑化によるウミネコ被害について

質問	回答	対応
<p>屋上緑化を設置しているマンションの屋上では、ウミネコの鳴き声や糞による被害が大変増えています。屋上緑化をしていないビルにはウミネコは来ないので、屋上緑化が被害の一因となっているかもしれません。</p> <p>台東区だけでなく、近隣区など他の区でも被害が出ていると思います。都や区では条例で屋上緑化を義務付けしていると思いますが、ウミネコの被害を防ぐために、条例の見直しや何か方法を考えていただきたいです。</p>	<p>区、都の各条例では、敷地面積に応じて屋上緑化を義務付けています。一方で、近年区内では緑化した屋上などに営巣され、ウミネコによる被害が増えています。</p> <p>そこで区では、毎年営巣が行われる前の2, 3月に、マンション管理者に対して事前対策についての啓発活動を行っています。</p> <p>ウミネコが集まっている建物や、糞害のひどい場所などの情報をいただければ、建物の管理者等に営巣対策をしていただくよう依頼をしますので、環境課までご相談ください。</p>	<p>☆</p>

## 「中学生との語る会」

日時：10月5日（日） 午前10時30分から（会 場：区役所庁議室）

### ◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が思う理想の台東区は、「勉強＝堅苦しい」というイメージを変えられる場所があることです。</p> <p>友達と会話し、お互いに励まし合って楽しく勉強できるようなスペースがもっとあれば、勉強に苦手意識がある人も少しずつ前向きになれると思います。楽しい雰囲気の中で努力することで、学ぶことが好きになったり、学力アップにつながったりするかもしれません。</p> <p>例えば、図書館を少し改装して、リラックスした自習スペースを作るなどです。気軽に集まって勉強会ができたり、居場所になったりします。静かすぎる環境や家での自習が苦手な人にとって、とても良いと思います。</p> <p>私は、そんな学びの場が増える台東区になってほしいです。</p>	<p>お友達と一緒に勉強することは、互いに励まし合うことができ、また互いに教え合うことで、学んだことをいかにわかりやすく伝えるか考える機会が得られ、知識の定着にもつながると思います。</p> <p>現在、中央図書館が入る「生涯学習センター」は改修工事をしており、令和8年12月にリニューアルオープンを予定しています。そして、工事終了後の充実内容の一つとして、個人での学習の場に加え、グループで話し合いながら学習のできる「（仮称）アクティブラーニングルーム」を設置する予定です。</p> <p>このお部屋については、皆さんに愛着を持って使ってもらえるよう愛称を募集しました。そして現在、皆さんの学校の端末を使って投票を行っていますので、ぜひご参加いただければと思います。</p> <p>※投票の結果、「アクティブラーニングルーム」の愛称は、「学び場」に決定しました。（中央図書館）</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私の考える未来の台東区は、素晴らしい文化を守りながら、今よりも多くの人に良さを知ってもらえるまちです。</p> <p>私は、習い事で書道をしています。家の近くには書道博物館があり、静かな雰囲気がお気に入りです。それでも最近は、外国人観光客の増加などの問題が増えています。それにより、今まで守られてきた下町の雰囲気が守られなくなるのではないかと心配しています。</p> <p>文化のまちとしての良さを無くさないために、美術館、博物館を守り、文化を大切にしてほしいです。外国の観光客の増加などの問題への対応と両立し、昔ながらの趣のある栄えたまちにしていきたいです。</p>	<p>書道博物館は根岸にある区立の施設で、静かな雰囲気の中で「書」に関する貴重なコレクションをゆっくりご鑑賞いただける博物館です。行ったことのある方もない方も、ぜひご覧いただければと思います。</p> <p>また、区内にはほかにも、東京初の世界文化遺産でもある国立西洋美術館など、様々な博物館や美術館があります。</p> <p>一方で、外国人観光客の方々も多く訪れており、これらの施設では外国の方にも楽しんでいただけるよう、各展示品の解説文を日本語だけでなく、英語などでも表記しています。</p> <p>また、観光客の増加に伴い、ごみのポイ捨てなど様々な問題がありますが、区ではマナー啓発や清掃活動などの取組みを行っています。</p> <p>引き続き、昔ながらの趣や良さがありながらも、さらに栄えていくよう頑張っていきます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>僕が考える台東区の魅力は、住人の密接なつながりだと思います。自分の祖父母以外にも、近所の方は自分の子や孫のように声をかけてくれ、その温もりは台東区の大きな自慢だと言えます。</p> <p>ただ、昨今は観光客の増加で、生活している僕たちにも不便が生じていると感じます。確かに、浅草や上野は23区の中でも観光名所と言えます。しかし、京都市のような観光都市ではありません。だからこそ、これから20年経ったとしても、このまちの住宅と歴史が入り組んだ形が残っていてほしいと思います。</p> <p>また教育現場では、少なくなっていく子供たちが、自主的に学校を良くすることについて考えを深める取り組みがあってほしいです。新たなアイデアを手に入れるためには、中学生同士のつながりだけでなく、小・中学生や中・高生といった縦の関係を重視した学校づくりができるようになってほしいと思います。</p>	<p>台東区はお祭りなどのイベントも多く、町会の活動も活発ですし、地域の皆さん同士が密接につながっているところは、私も自慢できると感じています。地域でこのような関係性があれば、たとえ災害が起きたときにも、ご近所の方たちで協力できることもあると思います。地域での声かけやあいさつは、ずっと続いてほしいと思います。</p> <p>一方で、観光客の増加で皆さんの生活に不便なことがあるとのことですが、国内外から観光客がたくさん来ることで、経済や産業の活性化など良いこともあります。皆さんの生活が不便になってしまうのは非常に困ります。皆さんの生活をしっかり守りながら、観光について考えていきます。</p> <p>最後に、小学生や高校生との縦の世代間交流は、お互いにとって有意義なものになると思います。どうすればより良い学校になるか、またそのためにどのように取り組むのか、これからも検討していきます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>僕の考える20年後は、「昔の台東区を忘れないでほしい」ということです。</p> <p>昭和の人たちの生活は今より不便で、今の時代には欠かせないスマホもありません。しかし、昔の映像に映る人々は明るく、そして今のテレビでも歌い継がれている名曲もあります。そんな昭和が僕は好きです。</p> <p>僕の住むまちは昔ながらの建物がありますが、時が進むにつれ取り壊され、マンションや大きなスーパーができて昔ながらの風景が変わってきました。</p> <p>僕の思いは、歴史ある台東区を知ってほしい一心です。近代化が進むのは良いことですが、外国人観光客が来る台東区だからこそ、伝統的な建物を残しているほうが良いと思います。「昔に戻せ」とは言いませんが、「20年後にこうなってほしい」というよりは、「昔ながらの風景を残してほしい」ということが僕の願いです。</p>	<p>「歴史ある台東区を知ってほしい」という思いは、私も同じです。今年は大河ドラマ「べらぼう」の放送をきっかけに、江戸から続く歴史や文化の魅力の発信に取り組んでいます。</p> <p>また、まちの風景や景色のことを「景観」という言葉で表すことがあります。台東区には古くて味わいのある建物がたくさんあるので、区では文化財の指定や登録の制度を活用したり、地域にある景観上重要な建物を「景観重要建造物」として指定し、古い建物を守り、昔ながらの景観を維持保全したりする取組みを行っています。</p> <p>なお今年の3月に、「したまちミュージアム」がリニューアルオープンしました。1階の再現展示では、現在の根岸三丁目あたりを舞台に、昭和30年代の下町の風情や暮らしを味わうことができます。</p> <p>引き続き、台東区の歴史や伝統を後世に受け継いでいけるように取り組んでいきます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>20年後の台東区では、現代まで行われている三社祭りや、観光名所でもある浅草寺など、歴史ある文化を大切にしつつ、隅田川や上野公園などの自然と共に守っていきたいです。</p> <p>それを踏まえて、将来、子供たちが安全に遊べる公園や施設がさらに充実し、どの世代でも安心して過ごせるような明るく元気さを保ち、世代を超えた交流がさらに広がる台東区にしていきたいです。</p>	<p>区内で行われるイベントや観光名所、自然豊かな場所は、観光にいらっしゃる方にも人気ですが、地元にお住まいの皆さんにとっては生活の一部でもあり、これからも大切に受け継いでいきたいと思っています。</p> <p>また公園については、地域の特性や利用者の意見を踏まえ、子育てやバリアフリー、防災機能など、様々な視点でこれまでも整備してきました。区では、これからも利用者のご意見を伺いながら、お子さんたちをはじめ、あらゆる世代の皆様が安全に過ごせるよう計画的に公園を整備していきます。</p> <p>施設については、令和11年度に北上野二丁目に、新たに福祉施設を開設する予定です。こちらでも子供から大人まで、障害のある方も無い方も、皆さんが気軽に立ち寄れる施設として現在準備しています。なお、若者を中心としたエリアとして、学習室やカフェ、くつろぎ空間なども整備する予定です。完成したらぜひお越しください。</p> <p>今後も全ての世代の方が、安心して元気に過ごせるような台東区であるように、私も頑張っていきます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>近年、球技ができる公園が少なくなってきているので、球技ができる場所を作ってほしいと思います。しかし、大きい人たちが激しくボール遊びをするのは、周りにも迷惑だと思えます。そのため、小さい子供や赤ちゃんが、のびのびボール遊びができる場所を作ってほしいです。</p> <p>さらに、コートなどを作れば、大きい人も遊べると思うのでしてほしいです。また、公園のゴミを減らしたり、ベンチを増やしたりすれば、お散歩の人も楽しめると思えます。</p> <p>公園を改良すれば、たくさんの人たちが楽しめる場となると思えます。ぜひお願いします。</p>	<p>台東区は東京23区で一番面積が小さい区であり、公園も小さい所が多いです。そのため、安全面などを考慮すると、ボール遊びできる場所の確保が難しい状況となっています。</p> <p>しかし、皆さんからの要望も多数あり、ボール遊びができる「スポーツコーナー」を設置した公園が、8か所あります。その中で、小島公園のスポーツコーナーは、今年7月に新たに整備しました。また小島公園には、小さなお子さんが安全に遊べるゴムチップ舗装の遊具エリアを新設するとともに、ベンチなどを設置することで休憩機能を充実させました。</p> <p>公園は、子供からお年寄りまで多くの皆様に楽しく安全にご利用いただけることが理想だと思います。これからもたくさんの方が楽しめる場となるよう、整備に取り組んでいきます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は、「レトロな雰囲気を残しながら、誰もが生きて暮らせる」ような、未来の台東区を思い描いています。</p> <p>20年後の台東区は、テクノロジーが溶け込んでいます。例えば、最新のAR技術を使って上野公園の歴史を眺めたり、浅草の江戸時代の賑わいを体験したりできると思います。</p> <p>また、古い建物の面白さはそのままに、内部は最新のバリアフリー設計にリノベーションされ、車椅子の方や高齢者も自由に移動できると考えます。</p> <p>商店街では、若者たちが新しいお店を立ち上げ、伝統工芸の職人さんたちと協力しながら、新しいものづくりに挑戦するようになっていると思います。</p> <p>このように伝統と革新が共存することで、台東区は「老若男女関係なく、活気あふれる街」になってほしいです。</p>	<p>古くからある歴史や文化、伝統を残しながら、時代の流れとともに新しいものを取り入れていくことは、区にとって必要なことだと思います。</p> <p>ご提案のように「AR技術」を活用し、実際に上野公園や浅草を訪れて、画面越しに江戸時代などの雰囲気を体験できれば、さらに台東区の魅力を多くの人に伝えることができると思います。</p> <p>また、台東区の南部エリアはものづくりのまちとして注目されており、バッグやアクセサリ、革小物などのお店を出したり、作業場を構えたりするクリエイターの人たちが増えてきています。そして現在、こうしたクリエイターさんたちが職人さんなどと手を組んで、新しい取り組みが行われている話も聞いています。</p> <p>歴史あるものと新しいものが共存したすばらしい区になるよう、これからも頑張っていくます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が思う未来の台東区は、古き良き文化を守りながら、子供たちが元気に活動できる区です。</p> <p>現在、台東区には76か所もの公園がありますが、ボール遊びが可能である公園は8か所しかありません。もっとスポーツコーナーを増やし、子供たちがのびのびと遊べる環境を作りたいと考えています。</p> <p>また、台東区が誇る銭湯が、次々と廃業の危機に陥っています。銭湯は単なる入浴施設ではなく、地域の大切な交流の場です。次の世代まで魅力をつなげるために、区の支援が必要だと考えます。</p> <p>私が考える台東区を実現するには、これらの点が非常に重要だと思いました。</p>	<p>台東区の公園は小さい所が多く、そのため安全面などを考慮し、新たにスポーツコーナーを設置するには比較的大きな公園に限られてしまっています。そのような状況ではありますが、区内全体のバランスを見て、エリアごとに設置について考えていきます。</p> <p>また、銭湯をはじめとする公衆浴場は、高齢者の方をはじめ地域の方々の交流の場として、区民の方にとっても大切な場所です。</p> <p>区では現在、各浴場が設備改善などをする際に、助成をして経営する方々の支援を行っていますが、それでも最近の燃料費や物価の高騰により厳しい状況です。そのため、これらの助成制度がさらに経営の安定化につながるように、今後も考えていきます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が考える未来の台東区は、伝統と新しさが共に生きるまちです。</p> <p>浅草のにぎやかな雰囲気や、上野の文化と自然を守りながら、さらに魅力のある台東区になってほしいです。例えば、上野公園には四季折々の花や芸術作品を楽しめる博物館がありますが、それは中に入ってみないと楽しめないと思います。そのため、散歩しながら気軽に自然と芸術、文化の両方に触れられる空間になるように、公園の中にちょっとした芸術を取り込むのが良いと思います。</p> <p>未来の台東区は、「暮らす人も訪れる人も楽しめるまち」になってほしいと考えています。</p>	<p>台東区は、上野や浅草をはじめとして様々な文化資源がありますが、特に上野の山には、博物館や美術館、動物園、音楽ホールなどの多数の文化施設があります。さらに、今の時期は、“芸術の秋”ということで、数々の文化・芸術イベントが開催されています。</p> <p>隅田川エリアには、浅草から東京スカイツリーをアートでつなぐ、「GTS（藝大・台東・墨田）観光アートライン」があります。隅田公園をはじめ、東京スカイツリーのビューポイントに環境アート12作品と、アートベンチ5作品が設置されており、アートに触れながら観光や散策を楽しんでいただくことができます。</p> <p>これからも「暮らす人も訪れる人も楽しめるまち」になるように、様々な文化資源を活かしながら取り組んでいきます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が考える未来の台東区は、今の良さや昔の伝統、建物などを残しながら、最新技術を使って、ビルの屋上には緑の庭園を作ったり、野菜や花を育てたり、太陽光パネルで自分たちで電気を作れたりする、地球にもやさしい台東区です。</p> <p>学校などの公共施設には、地震や台風にも強い素材を使って安全に暮らせるようにしたり、壁にテレビなどの画面をつけてニュースや天気を見られるようになったりすれば、もっと快適に伝統を守りながら、昔の良さと今の良さを合わせてより良いまちになり、新しいことにもチャレンジするようなまちになっていくと思います。</p>	<p>地球にやさしい台東区であることは、とても大切なことです。</p> <p>区役所の屋上には「屋上ガーデン」があり、どなたでも見学することができます。民間企業と協力しながら、屋上緑化の見本を紹介しています。</p> <p>また、太陽光パネルについては「再生可能エネルギー機器」という言い方をしますが、台東区では導入を検討している方に向けて、助成を行っています。太陽光パネル以外には、家庭用蓄電池やLED照明も対象です。</p> <p>小・中学校の設備については、修理や改修をしてからどのくらいの時間が経過したかを基準に、古くなってきたところを補強しています。</p> <p>引き続き、みなさんが安全に学校で勉強に励めるように区も取り組んでいきます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は将来、台東区に今以上にきれいなまちになってほしいと思います。なぜなら、台東区は浅草寺や国立科学博物館、上野東照宮などの観光地がたくさんあり、また最近では大河ドラマのモデル地としても知られるため、今後さらに多くの観光客が見込まれるからです。</p> <p>しかし、学校の活動で周辺を清掃していると、毎回大量のごみを拾うことができます。最初の頃は、「駅が近くで通勤・通学にも頻繁に使われるため仕方ない」と思っていました。ただ最初に言ったとおり、台東区は観光地が非常に多く、今後さらに観光客が訪れるかもしれません。そのため、台東区に来てくれる人に今以上に喜んでもらえるために、「きれいな道、きれいな公園、きれいなまちの台東区」になってほしいと思います。</p> <p>ごみを減らすには、一人一人の考え方を変えなければいけません。しかし、それは非常に難しいことです。一時的な対策かもしれませんが、張り紙や呼びかけなども効果的だと思います。また生徒代表として、今後も学校周辺の清掃活動に力を入れるとともに、「どうやったらごみを減らせるか」についても話し合いをしていきます。</p>	<p>学校の活動で清掃活動をされているとのことで、日頃よりまちの美化にご協力いただきありがとうございます。</p> <p>区では、「東京都台東区ポイ捨て行為等の防止に関する条例」を施行し、まちの美化を推進しているところですが、残念ながら道路上などにごみが落ちていることがあります。</p> <p>ごみのポイ捨てを防ぐため、区でも様々な取り組みをしています。学校の清掃活動として参加いただいている「大江戸清掃隊」の取り組みは、学校だけではなく、区民の方や区内で働いている方にも登録してもらい、清掃用具のほか、お揃いの半纏やたすきをお渡ししてまちの美化に取り組んでいただいています。</p> <p>また、毎月10日を「たいとうクリーンアップデー」とし、清掃活動の普及啓発を図ったり、実際に区の職員も清掃に参加したりして状況の把握などを行っています。</p> <p>こうした清掃活動も行っていますが、一番良いのはごみが捨てられないようになることです。区では観光客に向け、ごみの持ち帰りなどを含めたマナーを紹介するチラシを配ったり、実際にごみを持ち帰るための袋を配ったりするなどの活動も行っています。</p> <p>これからもごみが捨てられないための啓発や清掃活動を通じ、地域の皆さんのご協力をいただきながらまちの美化に取り組んでいきます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が考える未来の台東区は、伝統的なものがより身近になっている台東区です。</p> <p>台東区は伝統芸能や伝統工芸品がたくさんあると思います。それはとても素晴らしいことであると同時に、もっと身近にできるものだと考えました。</p> <p>また、台東区は上野や浅草など、とても有名な観光地が多くあり、たくさんの観光客が来ていると思います。そこで、お点前の体験や箸を自分で作るなど、日本らしい体験ができるサービスが、より多くなっている台東区になってほしいとも思いました。</p>	<p>江戸時代より以前から、浅草にはお寺などを建てるために職人が集まっていました。その後、上野に寛永寺が建立されてたくさんの寺院が増えるとともに、地域には職人や商人など多くの人が住み、江戸一番の賑わいだったそうです。このような背景のもと、伝統芸能や伝統工芸が発展して、今でもその文化が受け継がれています。</p> <p>例えば伝統芸能は、毎年浅草寺で開催される「台東薪能」や、多彩な芸能・芸術文化を皆さんに楽しんでいただけるよう「江戸まちたいとう芸楽祭」も毎年開催しています。</p> <p>伝統工芸では、「江戸たいとう伝統工芸館」にたくさんの伝統工芸品が展示されています。また、「台東区手作り工房マップ」には、お箸づくりを体験できる工房なども掲載されています。</p> <p>区ではこれからも伝統芸能や伝統工芸を皆さんに知っていただき、身近に感じていただけるよう、様々な取組みを通じて発信していきます。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私の考えた未来の台東区は、「災害に強い台東区」になってほしいです。例えば広報「たいとう」に、小さいコラムのような災害に対しての備えについて掲載してみたり、子供たちにも遊び感覚で災害の恐ろしさや備えについて考えることのできる、オリジナル災害対策ノートやクイズなどを作成したりすれば、気軽かつ簡単に災害と備えについて考え、学ぶことができると思います。</p> <p>また、一時避難場所や避難場所に向かう安全なルートを見つけたり、自分の家に足りない備蓄品を確認することができるチェックリストなどの機能を備えたりした、台東区内の災害の備えに関するアプリを作成してみても良いと思います。</p> <p>そのような活動を行うことで、家族や身の周りの人たちと「災害の備え」について話し合う機会ができ、台東区民一人一人が災害に対しての備えの意識が高まっていくのではないかと考えています。また、災害に強くなったことで、地震がもし起こった場合、地震がない国の外国人観光客が安心することもできるのではないかと考えています。</p>	<p>区でも、防災に関する内容は定期的に広報「たいとう」に掲載していますが、子供向けのものは少ないかもしれません。災害を学ぶ機会としては、小学校などに起震車を派遣し、地震の揺れのすごさを体験してもらっています。休日には町会での出前講座や、防災イベントを行っていることもあるので、ご家族やお友達と参加してみてください。ほかにも、関東大震災100年であった令和5年からは、子供を対象に復興公園などを回る「震災遺構ツアー」も行っています。</p> <p>また、避難場所に向かうまでにも危険が伴うことがあります。区で作成している防災アプリ「台東防災」では、避難場所へのルートを検索する機能があります。アプリからは防災地図やハンドブックも見ることができ、3か国の外国語版もあります。</p> <p>今年度は各家庭に、安全・安心ハンドブックやハザードマップなどをお配りする予定です。ご家族で地図やアプリを見ながら、災害時の連絡手段や備蓄について話し合う機会にしてみてください。今自分の家の冷蔵庫や食品棚に、何日分の食料があるのか調べてみることをおすすめします。</p> <p>今回のご意見を参考にしながら、これからも「災害に強い」台東区を作っていきます。</p>

## 「二十歳の集い実行委員会との語る会」

日時：11月26日（水） 午後7時から（会 場：区役所庁議室）

### ◇区立小学校のクラス数について

質問	回答	対応
<p>私には弟がおり、現在小学校に通っていますが、私が小学生だった頃に比べてクラス数が少なくなっているように感じます。</p> <p>おそらく少子化の影響かと思いますが、区としてはこのような状況で、どのような取組みを行っているのでしょうか。</p>	<p>現在の台東区立小学校の児童数は、学校によっては人数が減っており、クラスの数も減っている学校もあります。しかし、皆さんが小学6年生だった平成29年度と比べると、区全体で児童数は200人ほど増えています。</p> <p>その上で、区では学校に対し、現在は特に物価高騰等の影響により、家庭の経済的支援の充実を求める声が多く、そのため令和5年1月から、23区では1番最初に学校給食の食材調達の全面支援に取り組みました。また、今年度からは区立小・中学校等に通う児童・生徒を対象に、学校の教育活動で使用するドリル・資料集等の補助教材や、リコーダー・習字道具等の学用品等にかかる費用を補助しています。</p> <p>区では学校に対する支援を行って、保護者の経済的な負担軽減を図るとともに、様々な子育て支援施策にも取り組んでおり、これからも安心して子供を生み、育てることができる環境を整備してまいります。</p>	<p>—</p>

◇成人を迎えた私たちが地域のためにできることについて

質問	回答	対応
<p>観光客も多い台東区で成人を迎えた私たちに、地域に貢献できる場面はどのようなところにあるでしょうか。</p> <p>台東区は浅草・上野をはじめとして、伝統や文化財が多数存在している日本を、とてもよく感じられる場所でもあるため、海外からの観光客が多いです。</p> <p>また、台東区出身の人は、台東区にそのまま残る人が多い印象があるため、生まれ育った台東区の魅力を、私たち自身が伝えていければ良いなと思います。</p>	<p>地域への貢献方法は多岐にわたります。例えば、ボランティア活動等を通して、観光客や次の世代へ本区の多彩な歴史や文化を伝えていくこともその一つです。</p> <p>さらに、町会に協力することも貢献の一つだと思います。私たちの生活で身近な「町会活動」は、安全・安心な生活を守るために、大切な役割を果たしています。そのような活動を通じて地域と関わることで、新たな出会いや地域の魅力を発見できるかもしれません。</p> <p>将来なってほしい台東区の姿を思い描きながら、ご自身の興味や特技を活かして、地域に携わっていただければ嬉しく思います。それにより、多くの方々に台東区の魅力を伝えていただければより嬉しく思います。</p>	<p>—</p>

◇私たちにとって台東区がどうあってほしいかについて

質問	回答	対応
<p>私たちが生まれ育った台東区は、歴史深く、文化が根付いたまちですが、今後このまま台東区に残る人も、区外へ出ていく人も多いと思います。</p> <p>その中で、台東区がどのようなものであってほしいと考えているでしょうか。また、そのために政策を行っていたり、考えていたりしたら教えてほしいです。</p>	<p>私が考える台東区の魅力のひとつに、「江戸からつながる歴史と文化」があると思います。江戸は世界でも稀な100万都市であり、成熟したまちであったため、未来に活かす点が多くあります。</p> <p>そこで区では、江戸から明治へと時代が変わり、150年の節目であった平成30年を「江戸ルネサンス元年」と位置付け、講演会やガイドツアーの開催など様々な取り組みを行ってまいりました。</p> <p>今後も台東区に息づく多彩な江戸の文化や資源、「江戸たいとう」の魅力について発信し、区民の皆さんの郷土意識と誇りを一層深めてまいりたいと思います。</p>	<p>—</p>

◇台東区のこれからも残していきたいものについて

質問	回答	対応
<p>中学生の頃、生徒会として「区長と語る会」に参加させていただいた際にこのようなテーマで発表をした覚えがあるので、約5年経った今の台東区で、残していきたいものや無くしたくない文化・伝統についてお聞きしたいです。</p>	<p>台東区内には四季折々の伝統行事や、上野の山の文化施設、浅草の大衆芸能、江戸時代以来の暮らしに根差した生活文化など、長い年月で培ってきた文化資源があります。こうした数多くの歴史的建造物や伝統行事、伝統芸能等を確実に保存し、次世代に継承していくため、区では様々な施策を行い、「江戸たいとう」の魅力発信に努めています。</p> <p>また今年、リニューアルオープンした区立したまちミュージアムでは、下町の歴史・社会風俗・生活資料の収集、展示を行っており、昭和30年代の建物や街並みを原寸大で再現するなど、多くの来場者の皆様に好評をいただいています。</p> <p>引き続き、芸術・文化の着実な継承に向けて取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇若者の未来について

質問	回答	対応
<p>未来にあまり希望を持ってないのですが、私たち若者の未来は明るいでしょうか。</p> <p>明るくするためにはどのように行動していくのが良いとお考えですか。</p>	<p>今を生きる若い世代の皆さんの率直な思いであると受け止めています。確かに現代の社会はあらゆる分野で、様々な困難に直面しており、また多くの情報にあふれ、不安が増大しやすい状況にあると思います。しかし、若い世代の皆さんには、明るい未来を築く大きな可能性があると考えています。</p> <p>台東区は今年3月に、「次世代育成支援計画」を策定し、若い世代に向けた施策を実施しています。そして、令和11年度には「(仮称)北上野二丁目福祉施設」を開設し、生きづらさを抱える若者に向けて、居場所づくりや相談支援などを実施していく予定です。</p> <p>また、地域や学校と一体となって「花の心プロジェクト」を推進しています。台東区の花である朝顔をはじめ、四季折々の花でまちを彩り、「花の心」で思いやりの心、うるおいのあるまちを目指しています。</p> <p>詩人の坂村真民の詩集の一節に、「念ずれば花ひらく」という言葉があります。「念」という漢字は「今」の「心」と書きます。今の心を大切に、前向きに生きてください。必ずあなたにふさわしい道が開けます。</p>	<p>—</p>

◇選挙について

質問	回答	対応
<p>何年か前に投票権が18歳まで引き下げられ、自分が18歳になってから投票に行き、選挙に興味を持ちました。</p> <p>実際に投票率は上がったり、変化はあったりしたのでしょうか。あったのならどのように変化したのか、お聞きしたいです。</p>	<p>平成28年の参議院議員選挙から、選挙権年齢が「満18歳以上」に引き下げられ、台東区における18歳の投票率は64.19%でした。区全体の投票率の57.26%より約7ポイント高く、選挙権年齢が「満20歳以上」だった平成25年の参議院議員選挙に比べて、3ポイント高い投票率でした。</p> <p>一方で、19歳から29歳までの若年層の投票率は現在もなお低い水準にとどまっており、効果的な選挙啓発が今後の課題となっています。若年層の声が政治に反映されるためには投票することが重要であり、投票を通じて意思表示をすることで、皆さんの要望等が政策形成に組み込まれる可能性が高まると考えます。</p> <p>選挙管理委員会事務局では、「二十歳の集い」での選挙啓発品の配付や、期日前投票立会人に若年層を公募するなど、啓発活動を行っていますが、より効果的な啓発について検討してまいります。</p>	<p>—</p>



## 「20～40代の区民との語る会」

日時：2月20日（金） 午後7時から（実施形態：オンライン）

### ◇外国人観光客への対応について

質問	回答	対応
<p>お店の経営者も海外の観光客も増え、                      税収面では豊かになったと思います。一                      方でルールが守られないなど、治安の悪                      さも見えてきています。</p> <p>異文化の方々とうまく交流できる台東                      区にするために、何を進めていくつもり                      か伺いたいです。</p> <p style="text-align: right;">(40代 男性)</p>	<p>区では、区民と観光客の両者が快適に過                      ぎることができる持続可能な観光地の実現を                      目指すため、様々な取組みを行っています。                      主な取組みとしては、観光マナーを正しく                      ご理解いただけるよう、多言語によるイラス                      ト付きの「観光マナー啓発リーフレット」を                      作成して、イベント等で観光客に配布してい                      ます。</p> <p>また、区内の公衆喫煙所および公衆トイレ                      の位置等を一元化した「トイレ・公衆喫煙所                      マップ」が WEB ページ上でご覧いただけま                      す。そして、このマップを紹介するカードや                      卓上スタンドを、区内の商店街や観光客が滞                      在するホテル・旅館・民泊施設にも配布して                      活用いただくことで、広く周知を図っていま                      す。</p> <p>さらに、ボランティアを募り、観光客との                      コミュニケーションを通じてマナーを啓発                      するイベントを開催したり、外国人観光客の                      方にも日本の文化体験を楽しみながら、まち                      のごみ拾いをしていただく活動を実施した                      りするなど、啓発を推進しています。</p> <p>今後も本区に訪れる観光客に対し、区民の                      皆様にも気持ち良く受け入れていただける                      環境づくりに取り組んでまいります。</p>	<p style="text-align: center;">—</p>

◇孤独・孤立対策について

質問	回答	対応
<p>国政でも孤独・孤立対策推進室が置かれるなど、世界的に孤独・孤立が社会課題化していますが、台東区内においてはこのような状況をどのように捉えているのでしょうか。</p> <p>また、何か対策など考えているところがあれば、ご教示いただけると幸いです。 (40代 男性)</p>	<p>近年の社会構造の変化により、家族や地域、会社などにおける人との「つながり」が薄くなり、誰もが孤独・孤立状態に陥りやすい状況になっています。</p> <p>台東区でも、令和7年5月に実施した「台東区民の意識調査」において、4割弱の方が「孤独・孤立を感じることもある」と回答しており、区としても孤独・孤立対策に取り組んでいく必要があると認識しています。</p> <p>そのため、既存の制度の狭間や複合化した福祉課題へ対応するため、地域の関係者とも連携して、寄り添い型の支援を行う「包摂的な支援の推進」に取り組んでいます。</p> <p>この取り組みでは、既存の「介護」「障害」「子供」「困窮」に関連する相談窓口において、孤独・孤立の内容も含めた、世代や属性を問わない相談受付を行います。また支援が必要でありながら、適切な関係機関につながっていない人を発掘するため、孤独・孤立を抱える方などが気軽に利用できる、身近な居場所づくり等を行います。</p> <p>これにより、安心して過ごせる場所で悩みごとや困りごとを相談でき、地域とのつながりも生み出せるよう取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇まちづくりについて

質問	回答	対応
<p>台東区がどのような「まちづくり」のビジョンを持って、区政・活動を行っているのか教えてください。</p> <p>どのような「まち」を作ろうとされているのか、それによってどのような結実を目指されているのか、短期・中期・長期的展望もあれば、併せてお聞かせいただくとありがたいです。</p> <p>(40代 男性)</p>	<p>台東区では、概ね 20 年後の台東区の将来像を描いた「基本構想」を策定しており、その将来像として、「ひと」と「まち」が輝き、そして「世界に輝く」という思いを込め、「世界に輝く ひと まち たいとう」を掲げています。</p> <p>その実現のために、4つの基本目標に沿って 11 の分野に分け、施策の方向や目標を体系化しています。特定の分野に片寄ることなく、横断的な視点を持って取り組んでいくことが必要となります。</p> <p>なお、各分野の施策ごとにその方向と目標、およびその手段を示した長期的指針として「長期総合計画」があり、長期総合計画に掲げる取組みの具体化を図る計画として「行政計画」があります。</p> <p>今後もこれらの施策を着実に実施することで、台東区がさらに飛躍していけるよう取組みを推進してまいります。</p>	<p>—</p>

◇南部エリアのまちづくりについて

質問	回答	対応
<p>区の北部は、再開発などでまちづくりの計画が進んでいます。</p> <p>一方で、南部は子育てに適した広さの家が少なく、また敷地に対して大変高額であるため、第2子をきっかけに、他の区や県への引っ越しをされる方が大変多いです。</p> <p>保育園・幼稚園児が少なくなることで、園の経営にも影響があるのではないかと懸念しています。</p> <p>このような状況の中、南部エリアで子育て世帯が快適に暮らしていけるよう、どのような施策をお考えなのかお聞かせください。</p> <p style="text-align: right;">(30代 女性)</p>	<p>東京全体で転入超過が続いており、家賃の高騰も続いている中、区が住宅価格を抑制したり、住居費を補助したりすることは難しい状況です。そのため区では、子育て支援施策などを充実させ、子育てに関する不安や悩みを軽減することで、安心して育てることができるまちづくりを目指しています。</p> <p>例えば、小・中学生の保護者の経済的負担を軽減する取組みとして、令和5年1月から学校給食の食材調達の全面支援に取り組みました。また今年度は、区立小・中学校等に通う児童・生徒を対象に、学校の教育活動で使用する補助教材や学用品等にかかる費用を支援しています。さらに来年度は、新たに修学旅行等の宿泊行事にかかる費用を支援するための予算を計上しています。</p> <p>これらの政策により、小・中学校の教育課程を履修するために必要な費用は全て支援していく予定であり、区の教育環境としては大きく充実すると考えています。</p> <p>そのほかにも、子育て世帯の居住環境向上の取組みとして、リフォーム工事を行う対象世帯への助成金を交付しています。</p> <p>そして区では、南部地域の子育て世代が増加している状況を踏まえ、「南部地域におけるまちづくり方針」の中で、子育て支援機能を誘導することにより、子育て世代が安心して暮らせる環境づくりを推進することを掲げています。なお4月からは、台東育英小学校区域において民設こどもクラブ「キッズクラブ柳橋」が新たに開設されます。</p> <p>今後も国や東京都の動向、社会経済状況の変化を踏まえ、引き続き、様々な分野の施策との連携を十分に図りながら、子育て支援施策に取り組んでまいります。</p>	<p style="text-align: center;">—</p>

◇学校でのプール指導について

質問	回答	対応
<p>温暖化の影響で夏の猛暑日が多く続き、学校のプールの回数が少なくなっています。プールサイドの高温や熱中症などで安全面を考え、中止せざるを得ないのもわかりますが、今年度のプールの授業が4回しかなかったところもあります。夏休みのプール講習も今はありません。</p> <p>これでは泳げないのはもちろん、慣れた頃におしまい、翌年また同じ繰り返しです。遊べる海や川が近くにない土地柄、もう少し水に慣れておくのは重要なことです。</p> <p>時期をずらして夏以外の時期に行うか、学校外の温水プールを年間通して使うなど、機会を増やしていただけたらと思います。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p>	<p>体育科の授業は、多岐にわたる領域の内容を行うことになっており、全ての領域の指導がバランス良く行われるよう、水泳学習は8～10時間程度で設定する学校が多くなっています。</p> <p>そして、今年度の水泳授業は、実施時期の見直しや学年間における調整等により、区内各校において指導時間数を確保することができました。</p> <p>また今年度、改修工事によってプールが使用できない学校が、民間施設を活用した水泳学習を実施しました。その中で、「天候に左右されない水泳学習が実施できた」と報告を受けています。一方で、施設への移動時間確保に伴う他教科の授業時間への影響などの課題が懸念されています。</p> <p>学校の水泳学習は、今後さらなる猛暑の影響により、指導時間数の確保が困難になると見込まれます。新たな水泳学習に向けた取り組みについては、民間施設を活用した水泳学習の状況や他自治体の事例等を踏まえ、引き続き、本区の実情に沿った手法を検討してまいります。</p> <p>なお区では、年間を通して利用できる清島温水プールをはじめ、夏期に利用できる台東リバーサイドスポーツセンターや柳北スポーツプラザプール、また今年度は休止していますが、冬期に利用できる都立浅草高等学校温水プールもありますので、ぜひご利用ください。</p>	<p>☆</p>

◇より効果的に子育て支援事業を活用するために

質問	回答	対応
<p>昨年、『子育てアシスト』に電話をしましたが、「日本語を話せる人は対象ではない」と断られ、ホームページに書いてあるほど相談には乗ってくれないという印象を受けました。</p> <p>また、他区と比較して『あったかハンド』などの制度が充実していると感じていますが、「具体的にどのように使うと自分にとって助かるのか」を考えないといけけないので、その部分に支援があると嬉しいと考えています。</p> <p>例えば、今後子供が待機児童になってしまった際も、「具体的にどの制度を使うと仕事を続けられるのか」を一緒に考えてくれる組織があると嬉しいです。自分で制度を調べて利用するよりも、より良い解決策が出てくるのではないかと考えます。</p> <p>また、『あったかハンド』も妊娠中に使い方を一緒に考えてくれる人がいれば、産後すぐに赤ちゃんを面倒見てくれるシッターさんと呼ぶなどしてチケットを使ったほうが、大変な思いをせずに済んだのではないかと考えました。</p> <p>せっかくすばらしい制度があるので、以上のようなことを一緒に考えてくれる組織や人がいると、子育てで孤独感を感じずにより良い解決策が生まれ、子育てしやすい環境になると考えます</p> <p>(30代 女性)</p>	<p>「子育てアシスト」のご利用については、お問い合わせいただいた際の対応が不十分であり、申し訳ございませんでした。</p> <p>「子育てアシスト」では、子育て家庭が個別のニーズに合わせて、保育施設や様々な子育て支援サービスなどから必要な支援を選択し、利用できるよう専任の相談員が一緒に考えています。区役所6階の子育て・若者支援課の窓口にて実施していますので、まずはお電話でお気軽にお問い合わせいただき、今後ともご活用いただければと思います。</p> <p>また区では、保健所や子ども家庭支援センターなどでも、育児に関する悩みや不安などの相談を受けており、育児負担の軽減につながる各種サービスの活用についてご相談に応じているところです。</p> <p>加えて、子育てをされている方が、ご自身のスマートフォンやパソコンから必要なサービスを探せるよう、昨年8月より「子育て手続きガイド」を運用しています。調べたい情報をメニューから選択し、「はい」「いいえ」などの簡単な質問を答えることで、必要な手続きや利用できるサービスがわかります。</p> <p>今後とも個々のニーズに応じた適切なサービス利用のご案内ができるように努め、保護者の皆様の子育てに関する不安や負担の解消、軽減を図ってまいります。</p>	<p>—</p>

◇区内のお祭りについて

質問	回答	対応
<p>お祭りは年に一度なので、「騒がしくても許されるべき」という人もいますが、「お祭り＝全てが許される」のではなく、きちんとルールを守り、行うべきかと思えます。</p> <p>酉の市も出店のごみの放置や、マンションエリア内に物を置いたりしていることで、住環境の価値が下がっています。もう少しお祭りもルールを定めるべきではないでしょうか。</p> <p>また、反社会勢力のような人もいるため、健全な環境を作ってほしいです。 (40代 男性)</p>	<p>区内では、各地域に根付いた四季折々のお祭りや行事が実施されており、区の魅力の一つとして取り上げられる一方で、マナー違反や迷惑行為に関するご意見が区にも寄せられています。</p> <p>まず出店については、道路上に露店を設置する際には許可が必要になります。また酉の市の露店については、許可の際に周辺の清掃を条件としています。</p> <p>今回のご意見も踏まえまして、ごみの放置等、周辺環境に影響が出るような状況については、区としても改めて指導してまいります。</p> <p>次に、祭礼等からの暴力団排除についてです。「東京都台東区暴力団排除条例」では、暴力団員の祭礼、興行その他の公共の場所における行事への関与、暴力団の威力を示した行為が、区民・事業者に迷惑又は危害を及ぼす恐れがあるときは、警察に区民・事業者の安全の確保に必要な措置を要請することができることを定めています。そのため、区としては今後も管轄警察署と情報を共有し、安全確保に必要な措置を講ずるよう要請してまいります。</p> <p>引き続き、区民等の安全確保のため、関係機関等と連携を図りながら対応してまいります。</p>	<p>—</p>

◇子育て支援事業の充実について

質問	回答	対応
<p>少子化も加速しており、物価高や利上げもあり、今生まれてきている子供や親たちへのサポートの充実は、日本の未来のために重要だと思います。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育の設立（共働きが多く保育園の利用が進んでいるが、体調不良時の対応で悩んでいる家族の話を書く）</li> <li>・幼稚園・小学校後の預かり保育・学童の利用時間の延長と金銭面の補助（送迎の点で利用できないことが多い。区立幼稚園の預かり保育も強化されているが、さらなるサポートを期待。預け場所として区主体で施設を設けて、各幼稚園や学校から送迎バスで移動し、区内在住の方々のサポートで手芸、伝統工芸、勉強や言語などの学ぶ場を作るといったことを希望）</li> <li>・住宅ローン・賃貸への補助（資産の乏しい若い世代が台東区で住みにくくなっている）</li> </ul> <p>などがあります。</p> <p>環境面としては、公園などで休憩のため喫煙されている方が多く、喫煙者および非喫煙者が安心して公園を利用できるように喫煙所を作っていたいただきたいです。</p> <p>また、車椅子やベビーカーがエレベーターを利用しやすいように、駅周辺の案内を見やすくしていただくと嬉しいです。</p> <p style="text-align: right;">(30代 男性)</p>	<p>まず、病児保育の設立についてです。施設型病児保育に対する需要が一定程度あることは認識していますが、施設や人員の確保等の課題があるため、実施について検討しているところです。なお、現在実施している派遣型病児・病後児利用料助成については、より多くの日数を利用できるように、補助上限額を4万円から8万円へ引き上げる予算案を現在区議会に提出しています。</p> <p>次に、幼稚園の預かり保育および放課後対策事業についてです。区立幼稚園では、保護者の保育ニーズに対応するため、今年度より全園で預かり保育を実施しています。また、預かり保育料については免除や一部無償化制度があり、国は今年の9月から無償化の上限額を引き上げる予定です。なお、本区では国に先駆け、4月より上限額を引き上げて支援の拡充を図ってまいります。</p> <p>そして、幼児期における様々な体験は非常に貴重なものであると考えており、各園では教育課程において、地域の皆様とのつながりを大切にしながら、特色を活かした活動に取り組んでいます。</p> <p>小学生以上の放課後対策事業については、各小学校で実施している「放課後子供教室」の実施時間を、来年度から新たに5校で延長します。これにより、17校中10校で実施時間を18時まで延長することになります。</p> <p>引き続き、教育環境の充実や保護者の経済的負担軽減に努めてまいります。</p> <p>次に、住宅ローン・賃貸への補助については、区が補助することは難しい状況です。</p> <p>次に、公園での喫煙対策についてです。台東区では、喫煙者と非喫煙者が共に快適に利用できる環境を目指しています。そのため全ての公園において、子供たちが多く集まる場</p>	<p style="text-align: center;">☆</p>

所や遊具まわりを禁煙としており、また一部の公園と児童遊園は全面を禁煙としています。このルールが守られるよう24時間体制で警備員が公園を巡回し、指導およびマナー啓発を行い、緊急時には現地に急行する体制をとっています。

公衆喫煙所の整備については、周辺の整備状況などを総合的に踏まえて検討してまいります。

次に、駅周辺のエレベーターの案内についてです。現在区では、お手持ちのスマートフォンやパソコンでも閲覧できる「バリアフリーマップ」を公開しています。エレベーターやトイレなどのバリアフリー情報に加え、徒歩経路の検索機能や車椅子で走行した道路、段差および勾配を解消したバリアフリー化された道路の情報などを確認することができます。また、授乳室やおむつ交換台など、子育て世帯に役立つ情報もご確認いただけますので、ぜひご活用ください。

最後に、今年4月からの区役所の組織についてです。深刻さを増す少子化や核家族化、個人の価値観の多様化など、子供を取り巻く環境は大きく変化し、様々な課題が複雑化、複合化しています。このような状況に的確に対応するため、令和8年度より、区の新たな組織として「こども家庭部」を設置します。

子供と家庭を支える体制をより一層強化し、「こどもまんなか社会」の実現に向け、引き続き取り組んでまいります。



## 「立志式に携わる中学生との語る会」

日時：3月8日（日） 午前10時から（会場：区役所1001会議室）

### ◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>この宣言を書くにあたって、私は「自分はどんな人間でありたいか」ということを改めて考えました。</p> <p>今はまだ将来なりたい職業が明確に決まっていますが、やはりどんな道に進んでも、周りの役に立てる人間でありたいと思うようになりました。そのためには、今できることを真剣に取り組み、将来のため努力を積み重ねていきたいです。</p> <p>この宣言を胸に、将来いろいろな道を歩んでいきます。</p>	<p>「今できることを真剣に取り組み、将来のため努力を積み重ねていきたい」とのことで、これからに対する強い思いと成長への意欲が伝わってきて、とても素晴らしく感じました。</p> <p>将来の職業がまだ決まっていないとのことですが、「どの道を選んでも周りの役に立ちたい」という思いは、今後様々なことを学ぶ上で原動力となり、大きな意味を持つと思います。私も区長として「区民の皆さんの役に立ちたい」という思いが、日々業務に取り組む原動力となっています。</p> <p>いろいろなことに興味を深め経験を積むことで、将来なりたい職業が明確になってくるはずです。これからも将来のために、努力を積み重ねていただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は将来たくさんのやりたい職業があるので、将来の生き方やどのように充実させるかを考えました。</p> <p>去年の夏、1か月のアメリカでのホームステイを経験して、価値観の違いを理解することの大切さを知りました。</p> <p>今の生活の積み重ねが将来の生活に関わるのだと感じたため、日常生活で大切な挨拶などを意識していきたいです。</p>	<p>アメリカでのホームステイの経験が、文化や価値観の違いを理解する大切さを教えてくれたようですね。文化や価値観の違いを知ることで、自分にとっての“当たり前”が変わり、新しい発見や自身の成長につながると思います。</p> <p>また、国籍などの異なる人々が互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係で地域の一員として共に生きていくことを「多文化共生」と言います。台東区でも多文化共生の地域社会の実現に向けて取り組んでいるので、ぜひ台東区に住む地域の一員として、これからも様々な文化に触れて理解を深めていただけたらと思います。</p> <p>そして、「日常生活で大切な挨拶を意識する」とのことで、その姿勢は周囲との信頼関係を築く上で大切になります。今の生活の積み重ねが、将来の生活にも生きてくると思うので、ぜひ挨拶を大切にしてください、これからの中学校生活も頑張ってくださいと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は、立志式で「裁判官を目指す」と発表しました。その理由は、祖父の影響で法律に興味を持っていたことと、中学1年生の夏に長崎へ行き、平和について学んだことがきっかけです。</p> <p>もし裁判官になれたら、法律をもとに様々な判断をしていくこととなります。この仕事を積み重ねることによって、争いを防ぎ、社会の秩序を保ち、平和な世の中をつなぐと考えました。これは長崎で学んだ平和の大切さにもつながります。</p> <p>また、立志の宣言を書いて、自分の夢を実現するために、最後まで諦めずにやり続ける忍耐力が必要だとわかりました。</p> <p>今から努力を惜しまず頑張ろうと思います。</p>	<p>裁判官は公平中立な立場で法律をもとに、争いや犯罪の最終的な判断を下す、とても責任のある大切な職業です。その裁判官に、「平和な世の中を作るためになりたい」という思いを伺い、とても立派に感じました。</p> <p>そして、その実現のためには「最後まで諦めずにやり続ける忍耐力が必要」とのことで、大きな目標を達成するためにもとても大切なことであると私も思います。そのためにも、まずは毎日少しずつ勉強を続けることや、小さな目標を立て、成功体験を増やしていくことも重要であると思います。また、時には上手くいかないことや、苦手なことに挑戦することもあると思いますが、それを乗り越えれば自分の成長につながり、自分の目標にも一歩近づきます。</p> <p>そのような気持ちを忘れずに、これからも「裁判官になる」という夢に向かって頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は今回、立志の作文を作成するにあたり、過去の自分と今の自分を照らし合わせることにしました。そうすることにより、自分自身と向き合う時間が増え、本当の私の気持ちを言語化することができました。</p> <p>また、曖昧で先が見えていなかった将来の目標も、立志式という大きな場面を借りて、しっかりと宣言することができました。</p> <p>これらの経験は将来、何があっても心の支えになってくれるものだと感じているため、大切にしていきたいと思っています。</p>	<p>今回の立志の作文をきっかけに、「過去の自分と今の自分を照らし合わせた」とのことで、ご自身と向き合う時間ができて大変良かったと思います。</p> <p>将来の目標は「消防士」とのことで、人の命を守る仕事であるため、その社会的な貢献度はとても高く、誇り高いお仕事であると思います。しかし同時に、とても重い装備を身にまとい、炎天下や災害現場の危険な環境で活動することも多く、肉体的にも精神的にもとても大変な職業だと思います。</p> <p>そのような消防士になることを目標とされていることは、人のために働くことができ、そしてとても使命感がある方だと思います。ぜひ今回の立志の宣言を胸に、これからも目標に向かって頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私が立志の宣言を書く中で1番強く感じたことは、将来の目標を考えることの大切さです。これまでの私は、何となく将来を考えていましたが、作文を書くことで自分がどんな人になりたいのかを改めて見つめ直すことができました。</p> <p>私は将来、人に安心してもらえる、優しく頼られる美容師になりたいと考えています。そのために、今の自分に足りないことや、これから努力しなければならないことに気づくことができました。</p> <p>立志は将来の夢を決めることだけでなく、自分を変えるためのきっかけだと思います。この経験を大切にしていきたいです。</p>	<p>今回立志の作文を書いたことが、ご自身の将来についてしっかり考える機会となったようでとても良かったと思います。</p> <p>そして、将来はただ美容師になりたいのではなく、「人に安心してもらえる、優しく頼られる美容師になりたい」とのことで、とても素敵な目標だと感じました。また、なりたい職業のために自分に足りないところや、努力すべきところまで、よく自分のことを考えられているところが素晴らしいと思いました。</p> <p>美容師になるためには、国家資格をとる必要があります。そのために、いろいろな勉強や練習もしていかなければならないと思いますが、これからもぜひ目標に向かって努力を積み重ねていってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言を書く中で、自分がどれだけ周りの人に支えられてきたのかを改めて実感しました。</p> <p>学校生活の中で自分の役割について考えることが増え、不安を感じたり、1人で抱え込んでしまったりしたことがありました。</p> <p>しかし、先生や友達、家族が声をかけてくれたことで、前向きに取り組むことができている。この経験から、努力することだけでなく、人に頼ることや感動することも成長には欠かせないと思うようになりました。</p> <p>立志式を一つの節目として、これからは目の前のことに真剣に向き合い、挑戦を続けながら、支えてくれる人への感謝を忘れずに成長していきたいです。</p>	<p>今回の立志の宣言を通じて、周りの人たちへの感謝を実感したとのことで、とても良い発表していただき、ありがとうございます。</p> <p>また、「人に頼ることも成長に欠かせない」と発表していただきましたが、とても大事なことだと私も感じました。</p> <p>「人に頼る」というのは、実はとても難しいことであり、これは大人でも簡単にできないことです。1人で抱え込んで誰にも言えず、苦しんでいる人たちも多いのではないのでしょうか。そのようなときは、皆さんも先生やお友達、ご家族など、周りの人をぜひ頼って話をしてみてください。努力も大事ですが、時には人に頼ることも大切なことです。</p> <p>そして、そのような人たちへの感謝を忘れない点も素晴らしいと思います。努力を続けながらも、時には人を頼り、そして感謝をして、これからも成長していただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>立志の宣言を書くにあたり、私は将来どんな大人になりたいかを考えました。</p> <p>過去のことを思い返すときに強く印象に残っていた出来事は、バドミントンの試合と習い事です。これらの出来事を通して、将来礼儀正しく、どんなことでも逃げずに向き合う大人になりたいと思いました。</p> <p>普段から周りの人を大切にし、いろいろなことに挑戦していきたいと考えました。</p>	<p>スポーツや習い事を通じて、技術や知識を身につけるだけでなく、礼儀正しきや「何事も逃げずに向き合う」ことについても学んだとのことで、とても素晴らしく感じました。</p> <p>礼儀を意識することで、相手も自分に対して好意的な感情を抱きやすくなり、良好な関係を築くことができます。また、何事も逃げずに向き合うことで、たとえ上手くいかなくても、「次はこうしてみよう」と考えて取り組むことで、また一つ自分の成長につながると思います。</p> <p>ぜひこれから先も、様々な人と良好な関係を築いていただき、また失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦していただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は、「人生100年時代」を生きるのなら、学びと成長を続けられる人になりたいと思ひ、立志の宣言をしました。</p> <p>宣言を考える中で、学校の勉強だけじゃなく、日常の気づきや体験も学びの一つだと気づきました。特に保育園での職場体験では、挨拶や時間を守る大切さを実感し、学んだことの積み重ねが自分を支える力になると感じました。</p> <p>これからも学びを積み重ね、挑戦し続けて、人生の最後には笑顔あふれるおばあちゃんになりたいです。</p>	<p>私も日常に多くの「学び」があると感じていますが、そのことを理解されており、とても立派に感じました。</p> <p>また、保育園での職場体験では「挨拶や時間を守る大切さを実感した」とのこと、これまで学んできた挨拶や時間の大切さを、職場体験の場でもしっかりと実践することができ、とても素晴らしく思います。</p> <p>ぜひ学んだことは、誰かに教えてあげたり、誰かのために活用したりしてあげてください。そうすることにより、自分にとっても新たな気づきがあり、自身の成長につながると思います。</p> <p>今回の宣言や職場体験での経験を忘れず、学びを積み重ねていただき、“笑顔あふれるおばあちゃん”になっていただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は作文で書いたような、人に頼ってもらえる、人の気持ちを考えられる人になりたいと思っています。</p> <p>きっかけは、小学校にあった相談室の先生です。先生が悩みをたくさん聞いてくれたことで、自分をもう一度見つめ直すことができました。</p> <p>私は、小学校のときのつらい思いを後悔していません。このつらい思い出のおかげで、自分の第一歩になったことや、誰かの役に立ちたいという思いが生まれたからです。</p> <p>立志でつづった言葉の一つ一つを忘れずに、これからを歩んでいきたいです。</p>	<p>「人に頼ってもらえる、人の気持ちを考えられる人になりたい」という気持ちは、これから大人になってもとても大切なことだと思います。</p> <p>小学校のときにつらい思いをしたとのことですが、その経験をきっかけに自分を見つめ直し、さらに自分の第一歩として力に変えられており、とても強い方だと感じました。</p> <p>つらかったことや失敗してしまったことなどがあると、そのときは落ち込んだり、悲しい気持ちになったりするかもしれませんが、その経験は決して無駄になるものではありません。相談室の先生がそうだったように、これからは誰かにとって頼ってもらえるような存在になっていただけたらと思います。</p> <p>立志の宣言で書いたことを忘れず、これからも力強く歩んでいけるよう応援しています。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>僕はこの文を書くにあたって、「どうやって夢や目標を決めるか」という考えを持ち、そのために、すぐにではなくとも、学校などで得た経験を糧に、少しずつ将来への目標を決めていきたいと思いました。</p> <p>そして、「努力をした経験を積む」ということが、将来自分がなりたい大人になるための第一歩だと思いました。</p> <p>このことを成長しても忘れず、「自分がすることが将来をどう変えるのか」ということを意識して、日々を過ごしたいです。</p>	<p>将来の夢や目標がまだ決まっていない人も多いと思います。それでも自分の経験などを活かし、夢や目標を少しずつ形にしていこうとする姿勢は、とても前向きで素晴らしく感じました。</p> <p>また、将来の自分を作るのは、今の行動の積み重ねだと思います。日々のちょっとした選択や習慣が、長い目で見ると大きな差になることもあり、「今どう行動すれば将来の自分のためになるか」を意識して、意図的に行動することが、今後の人生につながってくると思います。</p> <p>今はまだ具体的な夢や目標がなくても、しっかり将来のことについて考えることができていると思います。ぜひ自信をもって、これからもその意識を忘れずに頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の作文を書くにあたって、「自分自身」と向き合う難しさをとても感じました。自分の内側にある熱意や不安を他人に伝わるように言語化することは、想像以上に難しかったです。ただ、作文を書き進めるうちに、「あのときの実体験が今の価値観を作っている」という自分でも気付かなかった一面に出会うことができました。</p> <p>私の宣言は、誰もが意見を躊躇なく発言できる、主体性のある環境を作ることです。発言を躊躇してしまうのは、「自分の意見を否定されて恥をかくから」だと私は考えました。そこで、否定をされなければ、人々は堂々と発言できると私は思い、この環境の実現を宣言しました。</p> <p>自分の取組みで社会の発展に大きく貢献するのが、最終的な目標です。</p>	<p>日々の生活の中で、改めて自分自身と向き合う機会は、なかなかないですね。そして、自分の気持ちを言語化して人に伝えることは、大人になっても難しいことだと思います。</p> <p>「誰もが意見を躊躇なく発言できる環境」は、非常に大事なことです。みんなそれぞれ意見や考えが違うのは当然ですが、仮に自分と違う意見の人がいたとしても、ただ否定をするだけでは何も生まれません。例えば、「なぜそう思ったのか」を聞いてみたら、実は自分も共感することがあるかもしれません。いろいろな視点で様々な意見に触れられることは、自分にとっても新たな気づきになり、とてもありがたいことです。</p> <p>これから先、いろいろな人と関わっていく中で、時には相手と意見が異なることもあると思いますが、今回のことを忘れず、将来社会の発展に貢献されることを期待しています。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私が立志の宣言を書くときに決めたことは、「自分の思ったこと、考えたことを正直に書く」ということです。</p> <p>今現在、将来の夢が特にない私が考えること、それをリアルに率直に書くことで、等身大の中学生の内容になったと感じています。</p> <p>私の宣言のテーマは「努力」ですが、現在している努力は、未来の自分を形作る大切なものだと考えています。</p> <p>将来、「今まで頑張ってきて良かった」と思えるように、目前に迫る受験も、その先の人生も努力を怠らずに、取り組んでいきたいです。</p>	<p>今回立志の宣言を書くにあたり、自分の思いや考えを素直に書いたとのことで、今の自分をまっすぐ見つめる良い機会になったのではないかと思います。</p> <p>今特に努力していることは「勉強」で、まだ将来の夢が決まっていないようですが、現在取り組んでいる努力は、未来の自分を形作るためにとっても大切なことです。そして、日々の勉強の積み重ねは、単に知識を習得するだけではなく、忍耐力や計画性といった力も育てることが出来ます。</p> <p>日々の努力は、将来いろいろな形で実を結び、必ず自分のためになるものだと思います。少しずつでも努力を積み重ねていくことが、必ず将来の夢につながると思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>立志の宣言を書く中で、私が音楽を好きになれたきっかけや、支えてくださった先生の存在を改めて思い出しました。</p> <p>つらいときにそっと手を着し伸べて、音楽の楽しさや素晴らしさをまっすぐに教えてくださった先生の姿が、今の私の目標です。</p> <p>この宣言は、そんな先生のような「音楽の先生になりたい」という自分の決意を言葉にしたものだと感じています。</p> <p>宣言した思いを忘れずに、夢に近づくための努力を重ねていきたいです。</p>	<p>音楽の先生がとても大きな存在なのだと感じられる発表でした。そして、その先生のようになりたいという夢を、私も応援したくなりました。</p> <p>今でもとても尊敬する先生であるとのことで、素敵な先生に出会い、教わることで良かったと思います。つらいときに手を差し伸べてくれた先生のように、ぜひ困っている生徒たちに寄り添い、良い影響を与える先生になっていただけたらと思います。</p> <p>今回立志の作文で書いたことを忘れずに、これからも目標に向かって、引き続き頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言に、職業体験での経験を生かして「誰かのためになるような人になりたい」ということを書きました。</p> <p>職業体験は、障がい者支援施設でお世話になりました。私は職業体験に行く前、障がいをもった方に「怖い」という印象を強く抱いており、上手く話せるかとても心配でした。しかし、そんな印象とは裏腹に、積極的にお話しをしてくださる利用者さんが多く、安心してコミュニケーションをとることができました。</p> <p>今の日本は、障がいをもった方にとって過ごしやすい環境とはい言えません。「少しでも過ごしやすいと思えるような環境を」という考えから、誰かのためになるような人になりたいということを書きました。</p>	<p>職業体験が単なる仕事の理解に留まらず、自分自身の価値観が変わり、将来について考えるきっかけになったことがよく伝わってきました。また、障害をお持ちの方との関わりを通じて、事前に感じていた不安が払拭され、今度はそこから相手を理解して、何かに取り組もうとされるその姿勢は、とても素晴らしく感じました。</p> <p>現在区も含め、様々なところで障害をもった方が過ごしやすい環境作りを進めているところです。例えば、バリアフリー対策として、音響式信号機や点字ブロック、また歩道の段差の解消などに取り組んでいます。まだまだ不便なところがあるのも現状です。</p> <p>だからこそ、若い方が「環境を良くしたい」と考えてくれていることは、嬉しいことですし、とても心強いです。ぜひ、これからも「誰かのためになるような人になりたい」という気持ちを忘れずに、頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は今回、人生の路線や自分らしさについて考えました。</p> <p>幼稚園時代から母と通っていた電車経路にあるバレエ教室に、小学4年生から1人で通うことになった上野から大塚は、私にとって冒険の一つであり、成長の一つだったと思います。敷いてもらったレールを活かしながら、たくさんの人に出会ったり経験したりして、私は自分の意思でこの先の道をしっかりと切り開いていきたいです。</p> <p>そして、選択をしてどんな結果になったとしても、それも自分だとポジティブに受け止めて、人生を楽しんでいきたいと思っています。</p>	<p>幼稚園の頃から長い間、バレエを続けてきたとのことで、始めるきっかけは親御さんがレールを敷いてくれた影響かもしれませんが、それを続けてこられたのは、ご自身が強い意思を持って取り組んできたからこそだと思います。そのため、自分の意思でこの先の道をしっかりと切り開いて行く力を、すでに持っていらっしゃると思います。</p> <p>たくさんの人の意見や考えも参考にしたり、様々な経験を活かしたりしながら、ご自身で舵を取って、この先の道を進んでいただければと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>今回、立志の宣言を書くにあたり、自分の好きな漢字を考えました。1番最初に思い浮かんだのが、自分の名前にもある“煌めく”でした。</p> <p>改めて“煌めく”の意味を考え、調べてみて、自分の将来が文字どおり“煌めく”ものになるよう、何事にも立ち向かい、プロ野球選手という夢を叶えたいと思います。</p>	<p>ご自身の名前の漢字が、文字どおり将来を照らしてくれているのだと感じました。</p> <p>また、「何事にも立ち向かう」とのことで、失敗を恐れることなく挑戦していく熱い気持ちが伝わってきました。たとえ失敗したとしても、その経験を活かして次にどのように取り組んでいくのかを考えて行動することで、自分の成長にもつながり、次は成功することで自信にもつながると思います。</p> <p>ぜひ煌めきを放ち、観ている人に希望を与えられるプロ野球選手になっていただき、周りに落ち込んでいる人がいたら、明るく助けてあげられる人になっていただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>まず立志の宣言を書くために、「好きな漢字は何だろう」と考えたときに、自分の名前の漢字が思い浮かびました。</p> <p>「空」には、私のなりたいことに関係があるのかなと思いましたが、「空」には夢がたくさん詰まっていました。自分の名前に入っている漢字で志を立てることができると思い、とても嬉しかったです。</p> <p>今のままでは叶えることができないと、自分を見つめ直す機会にもなったり、「空」がいかに壮大なものなのかを考えたりすることができて、立志の漢字を「空」にして本当に良かったと思いました。</p> <p>とても叶えたい夢なので、この志を忘れずに学校生活を送りたいです。</p>	<p>名前の漢字から志を立てたとのことで、ご自身のお名前を改めて好きになる機会になったのではないのでしょうか。また、「空」と聞くと無限に広がっているようなイメージが思い浮かび、きっとご自身の中では、「空」のように将来への夢や希望が広がっているのだと思います。</p> <p>その実現のためにも、まず「今」を大切にすることが重要だと思います。詩人・坂村真民の詩集の一節に、「念ずれば花ひらく」という言葉があります。「念」という漢字は、「今」の「心」と書きますが、今の心を大切にして前向きに生きていくことが、自分にふさわしい道を開くことにつながると思います。</p> <p>「空は壮大だ」という表現のとおり、将来は大きな可能性で満ちあふれていると思います。どうぞ、中学生という様々なことを経験できるこの一瞬一瞬を大切にさせていただき、これからも自分を信じて進んでいただければと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言をするまでは、将来についてあまりよく考えたことがありませんでした。ただ漠然と私の家がケーキ屋なので、跡継ぎでやっていけば良いと思っていました。</p> <p>しかし、思っているだけではダメだと気づきました。ケーキ屋になるために今できること、進路についてじっくり考えてみたら、何をすべきかわかり、取り組むことができるようになりました。</p>	<p>立志の宣言を考えるにあたって、「うちのケーキ屋さんを継ぐ」という思いが、明確に将来の夢へと変わったようですね。</p> <p>そのために、「ケーキを作るための技術や知識だけでなく、美術系の高校に行って、その見せ方なども学んでケーキ屋さんになりたい」とのことで、しっかり将来を見据えて考えられており、とても素晴らしく思いました。</p> <p>その進路に向かって、まずは残りの中学校生活を頑張っていただけだと思います。そして将来、跡継ぎとしてお店に立たれるときには、私もお客さんとしてケーキを買いにお伺いしたいと思いますので、これからの挑戦を応援しています。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>最初は、“志を立てる”のはなぜなのか、あまりわかりませんでした。しかし、作文を書いて「吉田松陰」の考えに触れることで、志を立てることは夢や近くの目標ではなく、何か成し遂げたいことや、大きな目標を実現するためにどうすべきかを考えることだとわかりました。</p> <p>僕はこの作文に取り組んで、混乱の時代に志を持って学び、後の世に影響を及ぼした吉田松陰のことを尊敬するようになりました。</p> <p>そして、吉田松陰のこの生き方は、同じような混乱の時期にある現代においても通じる、立派な姿勢なのではないかと思います。</p>	<p>今回の立志の作文を書くにあたり、「志を立てる」ことがどういうことなのか、理解されていった過程がよくわかりました。</p> <p>吉田松陰は、現在の山口県萩市にあった「松下村塾」で、幕末から明治期に活躍した人材を育成した歴史上の人物です。</p> <p>吉田松陰の「一時一時を大切にしていって行く」という考えに影響を受けたとのことで、時間を大切にすることは、明治維新へと時代が変わる幕末においても、そして現代においても変わらないことだと私も思います。そして、何かを成し遂げたり、大きな目標を実現したりするためにとても重要なことであると思います。</p> <p>これからもこうした姿勢を大切にしながら、様々なことに取り組んでいただき、ご自身の志を磨き続けていただければと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>僕は立志の作文について、2時間考えました。考えた結果、将来の夢や目標などはないけれど、決意表明や自分の気持ちを決めることならできる気がしました。</p> <p>そのため、自分の経験について書き、それでも自分の考えなどは持ったほうが良いのだと、皆に伝えるために書きました。</p>	<p>将来の夢や目標はまだないとのことで、ぜひこれからゆっくりと探してください。皆さんにはこれから先、無限の可能性があるので、夢や目標は大きく持っていただければと思います。</p> <p>また、「自分の考えを持ったほうが良い」と発表してくださり、本当にそのとおりだと思います。今後、様々な場面で選択や決断をすることが多くあると思います。そのとき、何となく周りに合わせるのではなく、しっかり考え抜き、「自分はこう思う」「自分はこうしたい」と選択できれば、後悔することも少なくなると思います。</p> <p>自分の考えをしっかり持って、様々なことに前向きに挑戦して行ってほしいと思います。これからもぜひ頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は宣言を書くにあたり、「運」について書いてみることにしました。</p> <p>最初は、「運が一番重要だ」ということを書いていたのですが、考えを深めていくうちに、運を理由にして思考や行動を放棄するのはもったいないと思いました。しかし、ずっと努力を続けるモチベーションを保つことも大変だと思います。</p> <p>そのため、「夢を探す」という目標を持って「勉強」という努力をして、運にとらわれずに自分で道を切り開き、有意義に生きていきたいと思いました。</p>	<p>運だけに頼るのではなく、「自分で道を切り開く」という考えに至ったとのことで、とても素晴らしいと思いました。特に印象的だったのは、「運を理由にして、思考や行動を放棄するのはもったいない」と気づいた点であると思います。何か良い結果を導くことや、自分が成長していくためには、自分自身で考えたり、行動したりすることが重要だと私も思います。</p> <p>また、「努力を続けるモチベーションを保つのが大変」とのことですが、まずは少しの努力から始めていき、それを積み重ねていくことで、モチベーションの維持にもつながり、夢の実現にもつながってくると思います。</p> <p>ぜひ、まずは夢を探すために勉強などの努力を続けていただき、そして夢が見つかった際には、今度はその夢に向かっての努力を続けていただければと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言を書くにあたり、過去の自分を振り返りました。最初は模然としていて上手く定まりませんでした。10年後にこの手紙を読むと想定したとき、将来励みになると良いなと思って書きました。</p> <p>私は今の自分の弱いところを克服したいと思ったので、その弱いところを書き出し、将来どうすればこの弱みを対処できるのかについても書きました。</p> <p>それにより、自然と自分に自信が持て、立志を立てる前と後で変わった自分がいました。立志を立てる大切さを知ることができました。</p>	<p>今回立志の宣言を書くにあたり、過去を振り返り、自分自身への理解を深めたとのことで、ご自身の成長のきっかけになったようですね。</p> <p>自分の弱さを知っている人は、それを克服するために考え、試行錯誤できるので、より自分自身を成長させることができる人だと思います。</p> <p>また、同じような弱さを持つ人に対しても、共感し、優しく接することができると思います。</p> <p>現在、生徒会長を務められているとのことで、生徒一人一人を優しくサポートし、そして自分自身も成長させていくことができる方なのではないかと思います。</p> <p>これからも失敗を恐れず、成長を楽しみながら前へ進んでいってください。そして10年度、今回の立志の宣言を読んだときに、ご自身の成長を実感できていることを願っています。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志の宣言を書くとき、将来の理想を胸に書きました。</p> <p>私は勉強をしているとき、身近なこととの共通点を見つけ、知識と経験を結びつけることができる喜びを感じます。</p> <p>私には、知りたいことがたくさんあります。そのため、日常の小さなことにも知る楽しみ、学ぶ楽しみを見つけます。</p> <p>「知りたい」「学びたい」という思いを忘れず、思うままに生きていくのが私の理想です。</p>	<p>日常の中にある小さなことをはじめ、様々なことに興味を持ち、「知りたい」「学びたい」と思えることは、とても素晴らしいことだと思います。また、勉強の中で身近な事柄と共通点を見つけ、知識と経験を結びつけようとするその姿勢は、学びへの深い関心と探究心が育っている証拠だと思います。</p> <p>「知りたいことが多い」ということは、学習を長く続ける上で大きな原動力になります。</p> <p>将来は、「生き物」のことを研究されたいとのことで、まだまだ解明されていないことも多く、好奇心や探求心が大いに発揮される分野だと思います。これからも「知りたい」「学びたい」という思いを胸に、将来の夢に向かって頑張ってください。</p>



令和7年度  
区長と語る会結果報告書

編集・発行 令和8年3月  
台東区総務部広報課  
令和7年度登録第89号

本文用紙は古紙配合率100%を使用しています。